



TAKASHI KAWAKAMI

川上 貴士

【プロフィール】

1979年 大阪府高槻市生まれ。

大学卒業後、映像を軸としたビジュアル制作を学ぶ。

名古屋、東京の制作会社で映像編集・モーショングラフィックデザイナーとして、

CM・VPをはじめとする様々な映像に携わる傍ら、グラフィックデザイナーとしても業務を担う。

2015年9月よりフリーランスとなる。

【主な受賞歴】

2017/11：UNKNOWN ASIA ART EXCHANGE OSAKA 2017 (大阪)

協賛企業賞 Peach賞

2015/10：UNKNOWN ASIA ART EXCHANGE OSAKA 2016 (大阪)

レビュアー賞 宇都直樹賞（近鉄百貨店）

2015：第65回 中部二科展デザイン部 入選

2014：第99回 二科展デザイン部 入選 全国巡回展作品選出

2013：マクドナルド BIC MAC AWARD ART CONTEST ファイナリスト賞

2011：アーバンリサーチ SALE SHOPPER DESIGN CONTEST 2012 第3位

2006：CREATORS MARKET vol.15 メインビジュアルアーティスト

【個展・グループ展】

2015/10：UNKNOWN ASIA ART EXCHANGE OSAKA 2015 at 大阪市中央公会堂 (大阪)

2015/04：つくし荘 第7期作家選抜展 (名古屋)

2014/10：abc.(アボ)-art box cafe- 展示・販売 (大阪)

2012/08：川上貴士の個展「窓景」 at ON READING (名古屋)

2010/08：米津陽介写真展「GOOD MORNING」にてコラボ作品 展示・販売 (神戸)

2009/01：米津陽介写真展にてコラボ作品 展示・販売 at 森岡書店 (東京)

COMMISSION WORKS

オトナの寄り道、淀屋橋オドナで。



淀屋橋
odona

30 Shops & Restaurants

Shops 11:00~21:00 (土日祝~20:00)

Restaurants 11:30~23:00 (土日祝~21:30)

※店舗により営業時間が異なります。

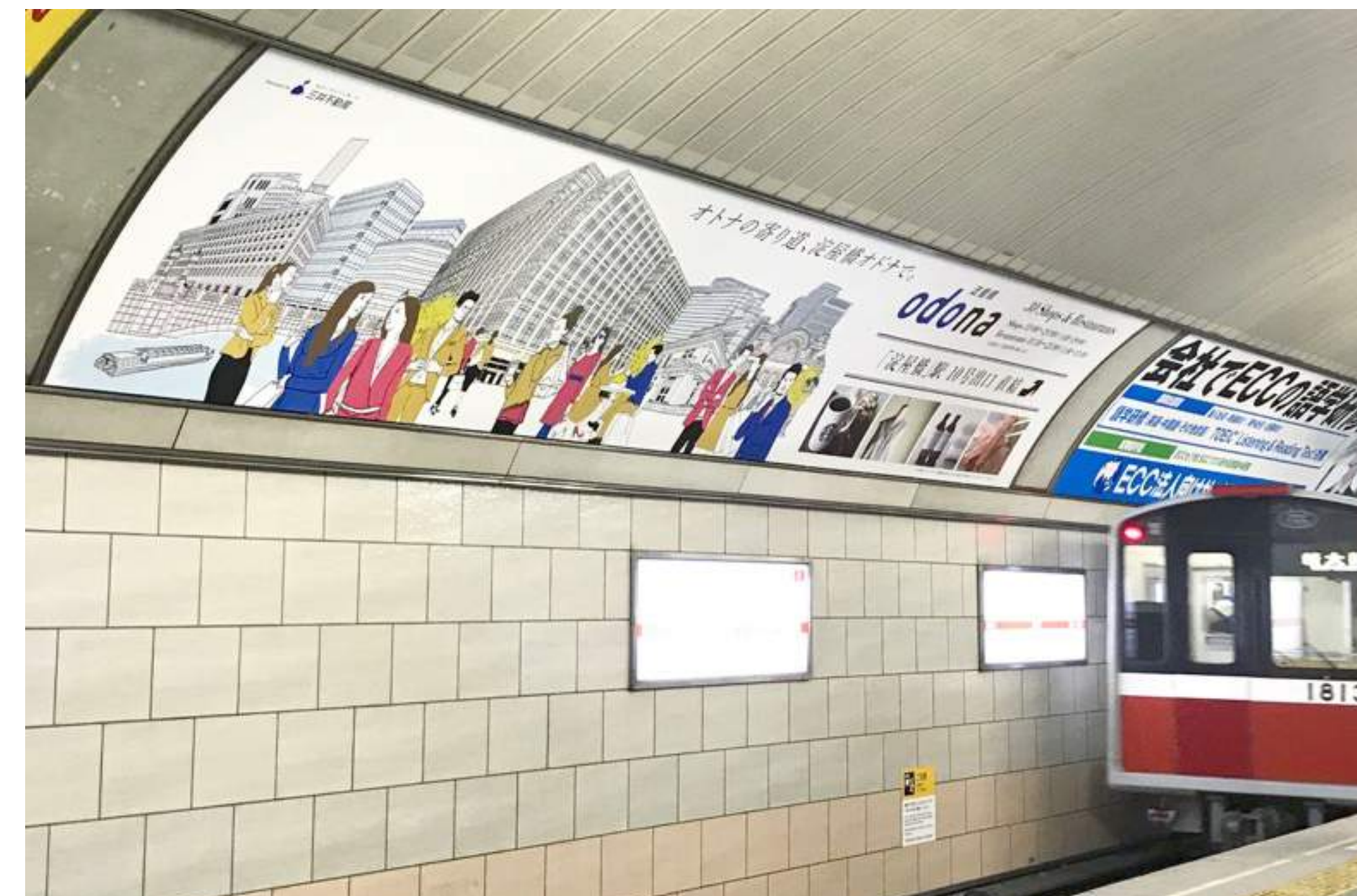
www.odona.jp

オドナ 検索

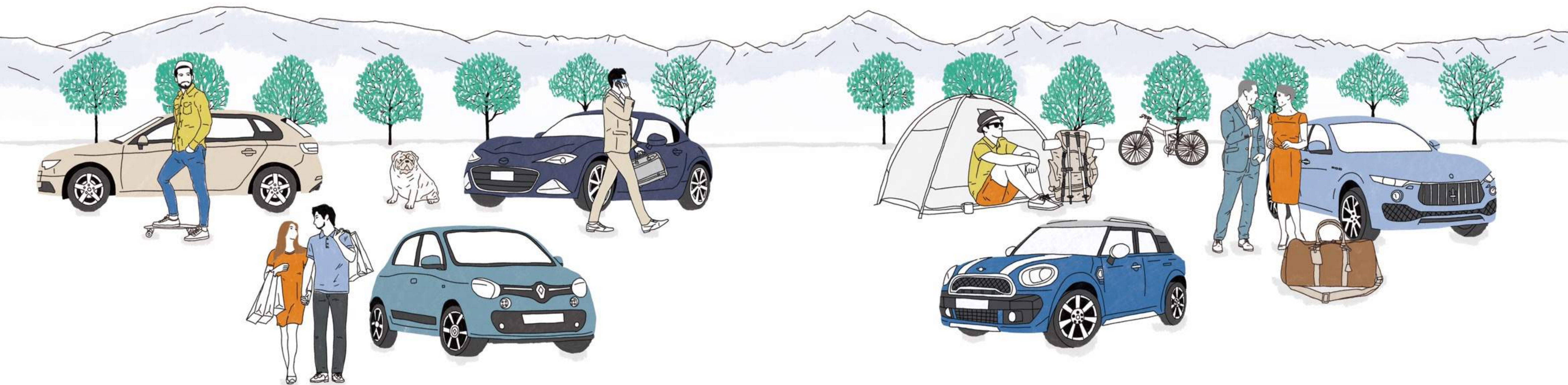


※写真はイメージです。※掲載の内容は予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。

Managed by 三井不動産





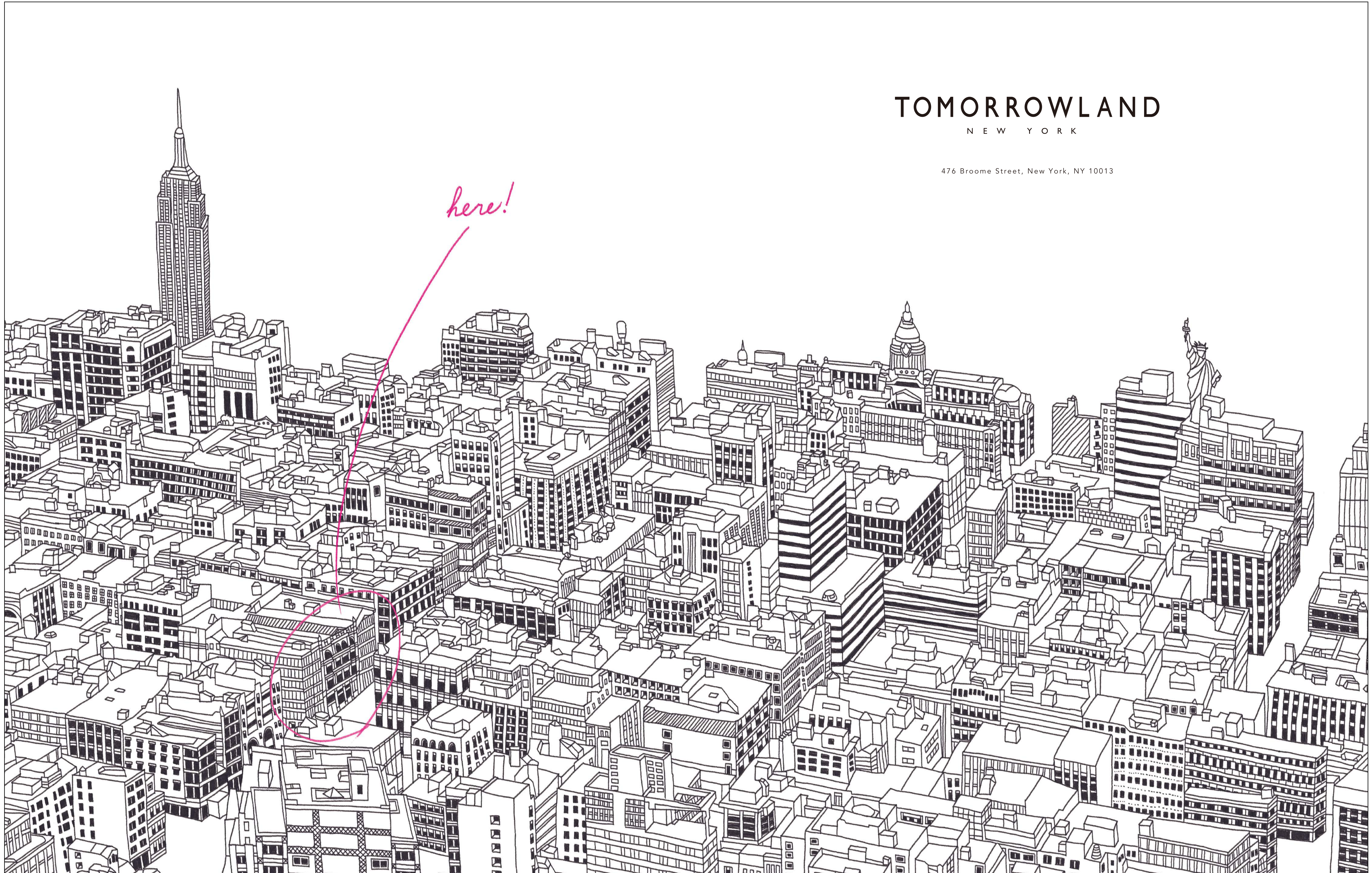


TOMORROWLAND

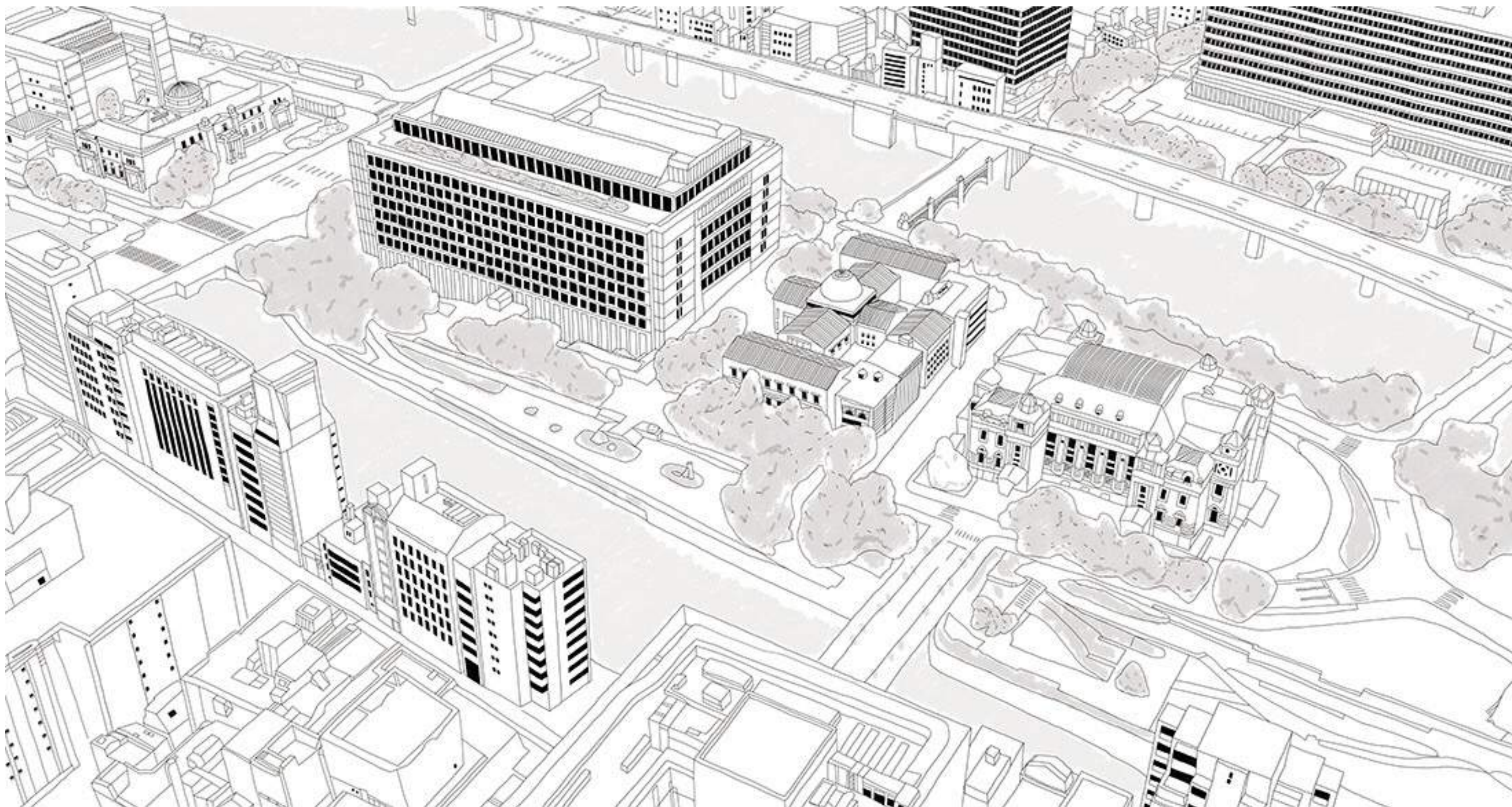
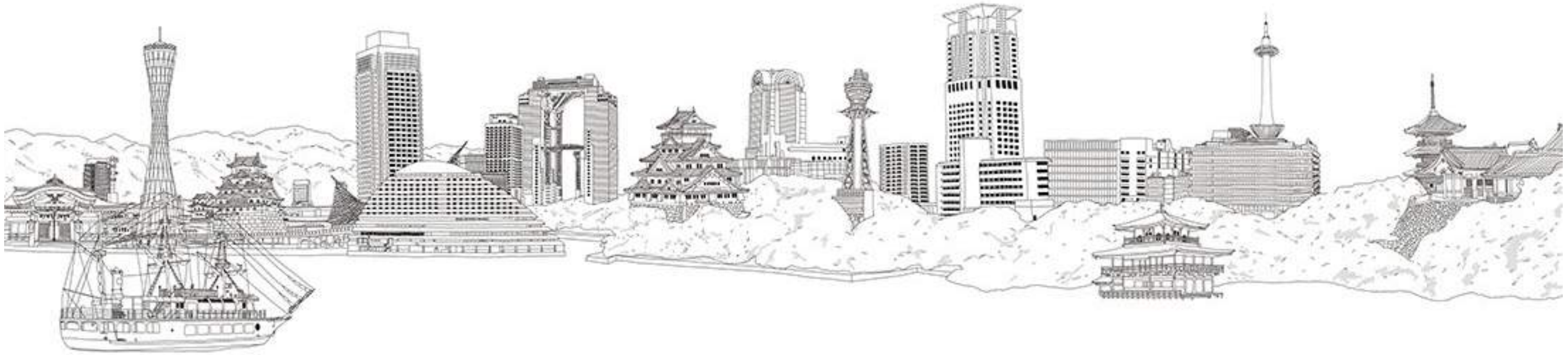
N E W Y O R K

476 Broome Street, New York, NY 10013

here!







@Reykjavík

昼はトレッキング、夜はオーロラ。
まるで自然に包みこまれる感覚。

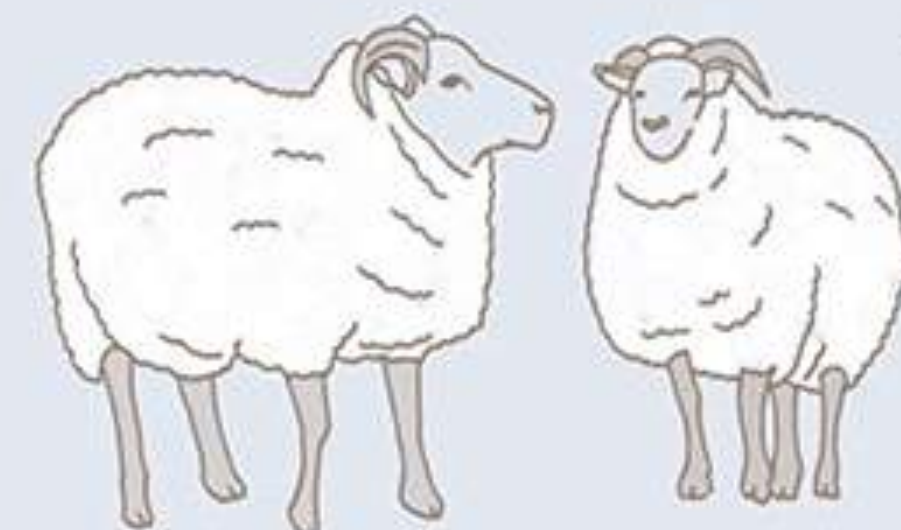


左から)
BILLABONG
南館5F | T.06-6359-2209
ブラスターボーダー・藤田一夜氏が手がける
ブランドとコラボ。パウダーガードなど機能性の
高さも魅力。一万リットル防水のキルトジャケット。
ジャケット 37,800円

Foxfire
南館5F | T.06-6485-7236
ゴアテックス®生地で極寒地への旅にも。
ダウン入りライナー1枚でも着用できる3Wayの
ユニセックスジャケット。
オーロラジャケット 99,360円



VICTORINOX
南館5F | T.06-6485-7720
左: リップストップナイロンと撥水加工をした
ワックスコートを組み合わせ、
袖を外してベストとして使用できる
2wayダウンジャケット。
ダウンジャケット 62,640円
右: (レディ) 袖口のサムホールと
ベルト使いがポイントの中綿入りジャケット。
フードの取り外しも可能。
ジャケット 56,160円



白洋舎クリーニング

北館8F | T.06-6359-1335

多様な素材・デザインのアイテムに対応。
お気に入りのアイテムを定期的にクリーニングを。

料金例	クリーニング
標準1,944円 / ローヤルクリーニング3,672円	ダウンコート
標準1,620円 / ローヤルクリーニング3,078円	パーカーコート

※毛皮・皮革製品は別途料金です。
ローヤルクリーニングとは
風合いや光沢を守ることにこだわった独自の洗浄システム。
立体的なラインの復元のため手仕上げにこだわっています。

コートのお手入れアドバイス

- 1: ポケットの中を空にして、ハンガーに掛けます。
- 2: 全体を軽く叩いてホコリを落とします。
- 3: 生地に対して直角になるようにブラシを持ち、
手のスナップを効かせながら生地の
毛並みに沿ってブラッシング。
- 4: 直射日光が当たらない場所で風を通してからクローゼットへ。
汚れ・シミを見つけたら、早めのクリーニングがおすすめです。



グランフロント大阪 ショップ&レストラン
〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4-1(うめきた広場)・4-20(南館)・3-1(北館) TEL:06-6372-6300(受付時間10:00~21:00)
○掲載商品は消費税8%の税込表記となっております。店頭での価格表記は店舗により異なります。詳細は各店舗にご確認ください。
○掲載商品の写真はイメージのものでございますので商品とは異なる場合がございます。○仕様・デザイン・価格の変更がある場合がございます。
○掲載情報は2016年10月14日現在の情報です。

Journey with COAT & BOOTS GRAND FRONT OSAKA

10/14 fri.
11/9 wed.



GRAND FRONT OSAKA
SHOPS &
RESTAURANTS

旅する気分でファッションを。



@Paris

PLAIN PEOPLE

南館2F | T.06-6485-7868

上質な肌触り、軽い心地の
イタリアンウール。美しい発色の赤のはか、
定番の黒もご用意。
ウールブレンドコート(ブレインズブル) 58,320円
ニットドレス(ブレインズブル) 36,720円
ネックレス(イムカティムカ) 12,960円
ブーツ(ホーマーズ) 52,920円

GALERIE VIE

南館2F | T.06-6359-2886

深みのあるフォレストグリーンが印象的。
オーセンティックなダブルフェイスコート。
コート 99,360円 タートルネック 19,440円
パンツ 22,680円(全てギルリーヴィー)
シューズ(spring court) 9,720円
バッグ(GLYDE) 56,160円

おしゃれな大人は、

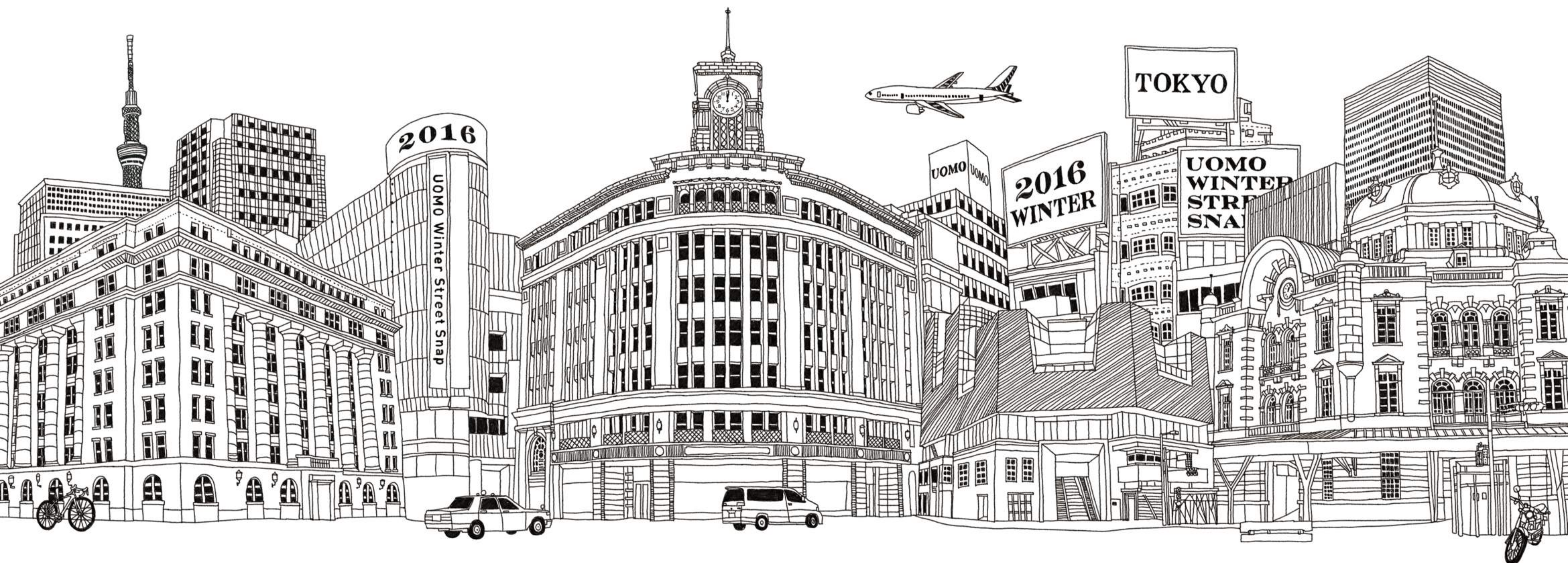
Part 9 おしゃれファミリーの休日、パパラッチ!!

**もう
ベーシックだけじゃない!!**

「ベーシックスタイル」「シンプルなファッション」という着こなしのキーワードが長くスタンダードになる中、実は街のコーディネートにも変化の兆しが!? シルエット、色・柄、そして小物使い…ベーシックだけではモノ足りない、一歩先をいく自分だけの“新しいスタイル”を確立している大人たちの最新ルールがココに!

Illustration: Takashi Kawakami [vision track]





PACKABLE DOWN JACKET

シティユースには、軽量化と防寒性を併せ持つ薄手のダウンが理想的。暖かい室内での移動中にはコンパクトにパッキングでき、しかもトラベルモードにもなる機能性を備える。



内ポケットに内蔵した専用バッグにお金を詰め込むと、服をサボットするトラベルモードに早変わり。出張や旅行にも最適。



360度全方位のストレッチ素材を採用することで、フィットしたシルエットでも窮屈さを感じさせず、ダウンに運動性も与える。

AERA PROMOTION

アクティブなビジネスマンは、「シティセッター」を選ぶ。

—— タケオキクチの機能派ワードローブ ——

現代のビジネスマンのファッションは機能性を備えてこそ真のツールになる。タケオキクチの「シティセッター」はそんなアクティブに広がるビジネスシーンを支えてくれる。

Photograph: Hiroshi Kuroguchi (STORY)
Styling: Masayuki Sakurai
Hair & Make-up: Akimoto Lavin Hair (3rd)
Illustration: Takashi Kawakami (vision track)
Text: Mitsuru Shibata

CITY SETTER

動きやすさ重視のダウンコートは防寒性が高く、スポーツやアウトドアには最適ですが、ビジネスシーンでも着たいという声も少なくありません。そこで、フィットしたシルエットでも窮屈さを感ぜず、ダウンに運動性も与える。コート ¥55,000、ニット ¥14,000、シャツ ¥18,000、パンツ ¥16,000、シューズ ¥15,000、バッグ ¥28,000 / オペタタケオキクチ (タケオキクチ)

薄手のダウンはキコキコ感を抑え、スタイリッシュなフォルムはダウンであることも伝えず、オフィスでも違和感がない。高い防寒性は裏コートで補填。ニット ¥14,000、シャツ ¥18,000、パンツ ¥16,000、シューズ ¥15,000、バッグ ¥28,000 / オペタタケオキクチ (タケオキクチ)



POLYESTER TWEED SET-UP SUIT

伝統的な和装で纏ったボリエスタイルのハイテク機能素材を、ブランドが選りすぐったモデルとあるパターン生地を組み合わせ、ウォッシュ加工でより実用性。



柔軟な素材で、シワにもなりにくいポリエステル素材を採用し、また動きもウォッシュ加工でより実用性。

高級素材ならではのアクティブな使い勝手に、心強いフィット感と高いボリエスタイルのハイテク機能素材を、ブランドが選りすぐったモデルとあるパターン生地を組み合わせ、ウォッシュ加工でより実用性。

CORDURA COMBAT WOOL

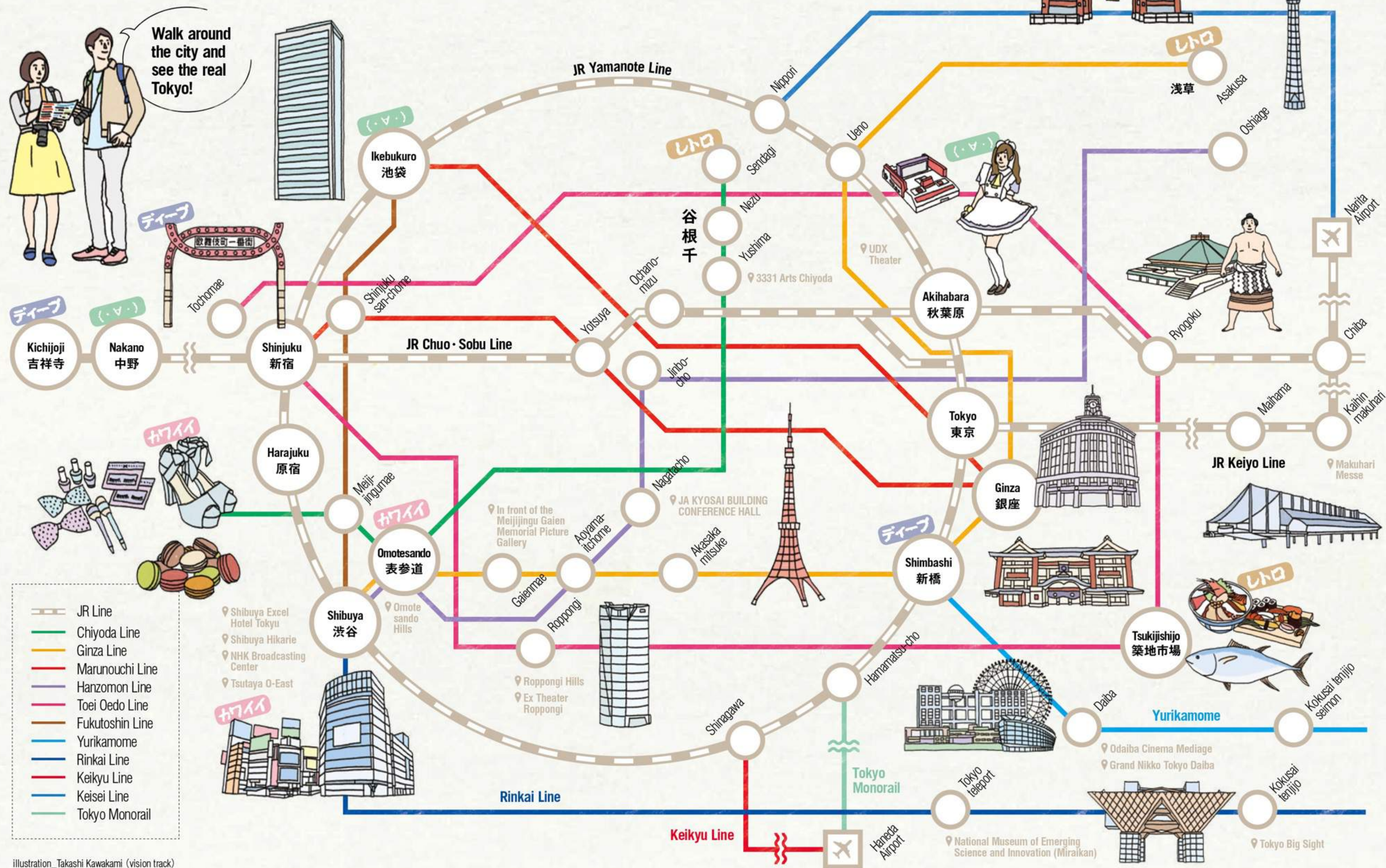
コードウエアロンをウールに織り込んだ素材に、高機能素材を組み合わせ、高機能なウールと組み合わせ、2WAYストレッチや撥水、ウォッシュ加工、防シワの機能を備える。



100%のウール素材に、高機能素材を組み合わせ、高機能なウールと組み合わせ、2WAYストレッチや撥水、ウォッシュ加工、防シワの機能を備える。

高級素材ならではのアクティブな使い勝手に、心強いフィット感と高いボリエスタイルのハイテク機能素材を、ブランドが選りすぐったモデルとあるパターン生地を組み合わせ、ウォッシュ加工でより実用性。

TOKYO CONTENT EVENTS MAP



illustration_Takashi Kawakami (vision track)

個性際立つクルマが次々と登場！ やっぱりいいよね、ニッポンのクルマ。

どうやら最近、日本車が面白くなってきたという。
走りの楽しさがあって、使い勝手もよく、燃費効率まで優れ、デザインもいい。
未来を見据えて進化するニッポンのクルマをご紹介します！

Photos:Ryo Kameda[P.186] Masahiro Okamura[CROSSOVER][P.188-191] Riki Yamada[Mr.KANADA]
Illustration:Takashi Kawakami[vision track] Composition&Text:Masayuki Sawada

状況になりましたよね。レクサスに限らず、各社それぞれに見どころがあって、今の日本車は見ていて本当に面白いですよ。それこそマツダのディーゼルエンジンはすごく評判がよくて売れているじゃないですか。三菱のアウトランダーPH EVも売れていますし、日産のリーフも右肩上がりですごくいい販売が伸びていますからね。

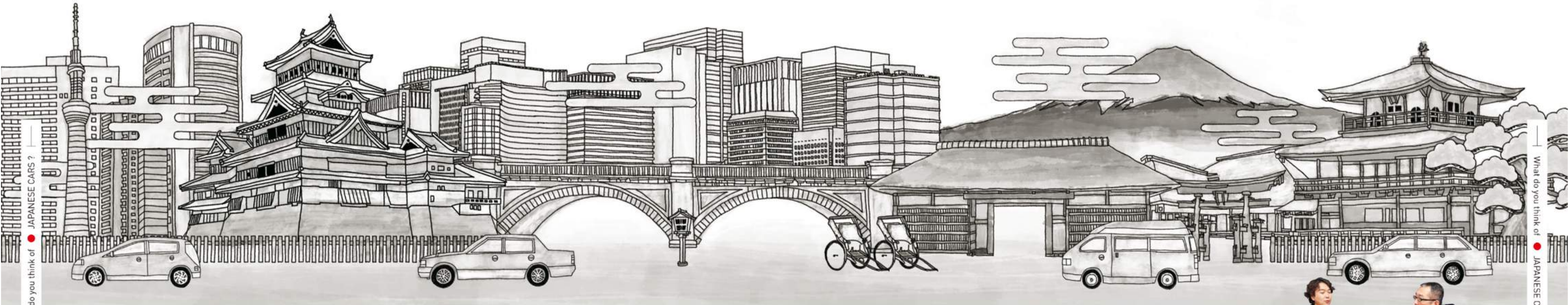
ニッポンのクルマの未来

——リーフの話が出ましたが、電気自動車(EV)はどうですか？

島下 今のリーフの航続距離はだいたい280kmかな。充電のことは常に考えないといけないですけど、充電スポットが増え続けているから、行こうと思っただけでも行けます。だから、リーフがなぜ右肩上がりで売れているのかといえば、みんな気づいたわけです。これ使えるじゃんって。週に1回しか乗らないし、遠出はそんなしなし、これだけ充電スポットもあるしと思ったら、むしろメリットのほうが多い。インフラが整備されたら販売が加速してきて、販売が加速していけばまたインフラもよくなる。電気自動車は今、そういう普及のサイクルに入っていると思います。

渡辺 実際、トヨタは2050年までにガソリンやディーゼルといったエンジンの新車販売をほぼゼロにしようとしていますからね。われわれが死ぬ頃には、トヨタはエンジンオンリーで動くクルマを売ってないことになる。そのスパンで考えていくと、わりと早いうちにハイブリッドとか、EVが当たり前になるでしょうね。

島下 自分たちは今、未来の入り口に立っているんですよ。エンジンでなく、電気や燃料電池で走るクルマになっていくって、自動運転も始まるかもしれない。劇的な変化ですよ。そういう時代にわれわれはいて、しかも日本のクルマがリ



どうなの？
ニッポンのクルマ

人気自動車ジャーナリストの二人が、
ニッポンのクルマの現在と、
注目の6台について語り合った。

いろいろあって面白い

——プロダクトとしての完成度が高く、際立った個性もある。最近ニッポンのクルマが面白いという話を聞きますが、どういう背景があるのですか？

渡辺 これはトヨタがいい例ですけど、2000年代に入ると世界中が商圏になって、景気のいい国も増えて、クルマがばんばん売れていた。でも、それに対して開発のリソースが追いついていなかったんです。そこにリーマンショックが起きて、東日本大震災があって、危機を迎えた中で自分たちのクルマをどうやって買ってもらおうかということに対してプラットフォームのレベルから考え直したものが、ここに至って始めてきたんです。

島下 マツダなんかもそうで、ちよつと大変な時期があったけど、そこを耐えて収益性があって魅力もあるクルマをつくるぞと言って、「スカイアクティブ」という新しい技術を開発し、CX-5から始まる今のラインナップをつくり上げました。どれもいいクルマですし、特に去年出たロードスターなどは、軽くて走りがよくて、本当にマツダにしかつくれない

——自動運転はどうですか？ 日産がだいぶ力を入れているようですが。

渡辺 日産の自動運転の考え方はちよつとユニークで、映像解析の技術がすごいんですよ。ほかのメーカーも、もちろん映像を使うんですけど、レーダーとかライダーとか、いわゆる音波・電波系のもので周辺認識をしながら走る。それに對して日産は、カメラの使用量が多い。たぶん画像解析に関する技術的な蓄積は相当あるんじゃないかな。その一端が自動車庫入れとか、車両周辺の画像を俯瞰したりというかたちで出てきているんだと思います。

島下 新しい時代のクルマの喜びを真っ先にに出してやるのは日産かもしれないなと思ったりもしますよね。GMでやっている手放し運転もすぐに実現するわけではないですけど、今まではステアリングを握るのが当たり前の表現だったのに、握らなくても楽しいことがあるぜと言っているわけだから。

渡辺 現状の運転支援システムだと、やはりスバルのアイサイトがすごい。ステレオカメラで常に前方を監視し、必要に応じて自動ブレーキなどの制御を行うんですけど、最新のVeer 3は完成度が高くて、とにかく制御が人間にとって違和感がない感じになってきている。ただ前のクルマについていくだけじゃなくて、こういう減速の仕方をして、こういう再加速の仕方をしますというところがすごく滑らかで気持ちいい。乗ると本当にビックリします。

二人が選ぶ注目のクルマ

——おすすめのクルマを挙げてほしいと言われたら、何を選びますか？

渡辺 僕の場合、個人的な趣味の視点で日本車を見たとき、最終的にジムニーとロードスターとクラウンがあったら自分

クルマだと思えます。しかも去年は、ホンダもS660を出しました。なんと開発責任者は26歳ですよ。どちらも実用性の低いオープン2シーター。こういうクルマを出せる、チャレンジができるというの、まさに日本のメーカーが元氣になってきた証しですよ。そうかと思えば、クルマの楽しさは何もスポーツで走ることだけではないわけで、例えば新シエンタはミニマムサイズの3列シート7人乗りですが、デザインはいい意味でぶっ飛んでいるし、何より走りがビックリするほどしっかりしている。購買層はきつとクルマにそれほど興味がある人たちではないと思いますが、そういう人たちもいつべんいいクルマに乗ったら、次はもうダメなクルマに戻れないはず。これは日本の自動車ユーザーの感度を底上げするものならぬと思います。

渡辺 僕らがよく使う言葉に「動的な質感」というのがあって、これは性能やスペック上の数値では表せないスムーズさや快適さといった感性の部分を指すのですが、日本車においてもこの動的な質感を備えたクルマが確実に増えてきている。そういうクルマに乗ると、クルマに対する見方が変わっていくので、全体としていい状況になっていくと思いますね。

——新開発といえば、1月にデトロイトで開催されたモーターショーで、レクサスが新しいプラットフォームでつくられた最新モデルLC500を発表しました。「レクサス新時代の始まり」という言い方をしていたようですね。

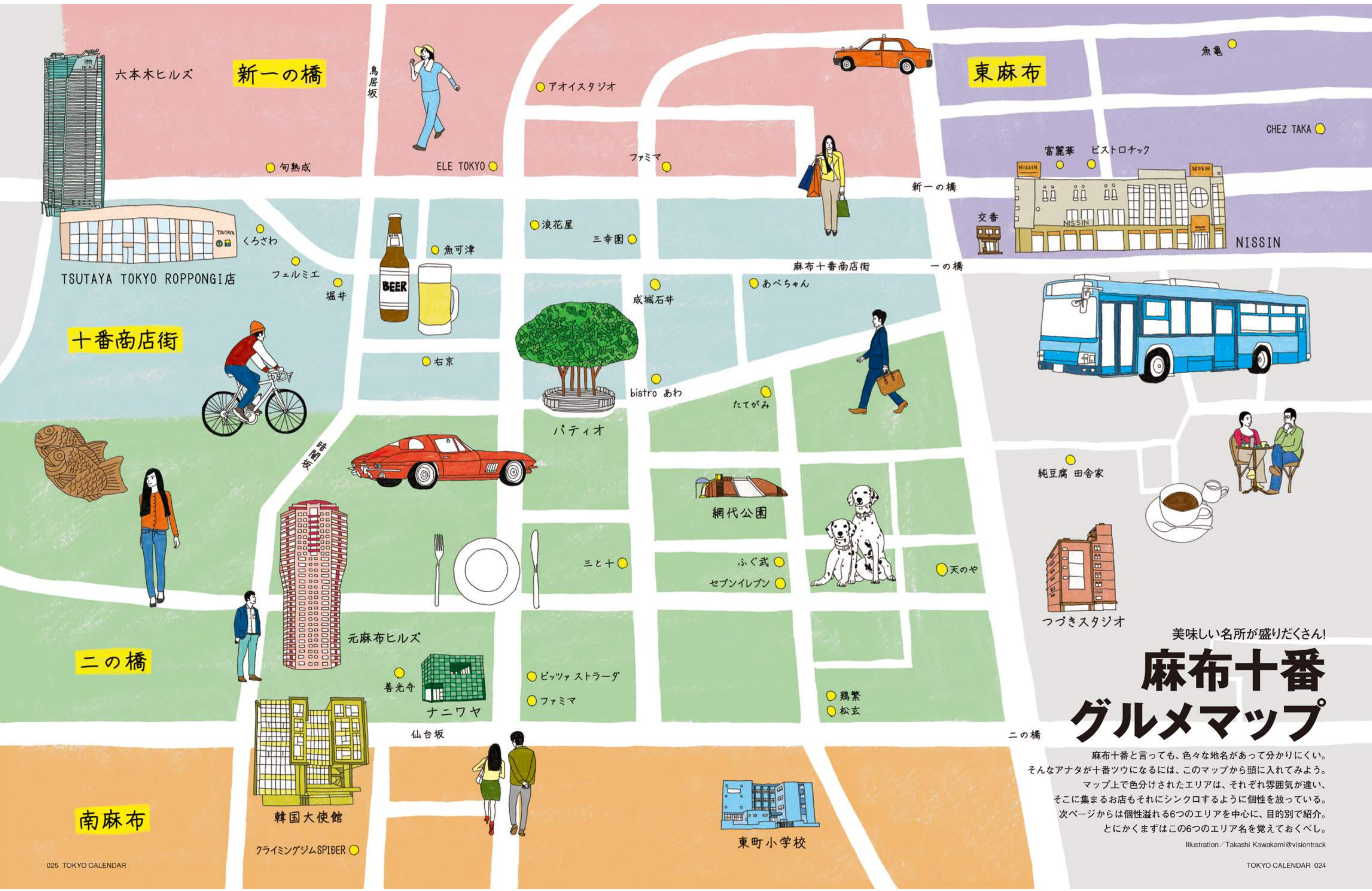
渡辺 レクサスは相当いいところにきていると思います。この最新モデルからプラットフォームは完全刷新され、文字どおりゼロからつくり直しています。これをもとにほかのクラスのクルマもつくっていくみたいです。

島下 最近のレクサス車は、海外のライバルたちに全然負けてないですよ。ブランドは強いし、顧客満足度も高い。いいクルマにまつわる欲求のほとんどは完結するなという気がするんですよ。3つともすごく定番的な商品だけど、ロードスターに関してはスポーツカーとしてのすべてがあるし、ジムニーはもう完全にジムニーだけのオリジナルな世界がある。クラウンはちよつとまた違うとらえ方で、どれだけの時代が変わっても乗つたフィーリングは日本のおっさんの琴線がガシッとつかむというが、最終的にはこれだよなって感じにさせてくれるところですね。ただ、このタイミングで取り上げるなら、クラウンじゃなくて、レクサスのGSFかな。5.0V8エンジンは、やっぱりすごいですよ。

島下 GSFは僕も欲しくなっちゃいますね。じゃあ、僕はシエンタとS660とリーフとXVにします。プリウスも入りたいんですが、ちよつと今号の連載で紹介していますので。最近の日本車はハードウェアとしても完成度が高くて、海外メーカーに負けてないものが増えてきたし、個性という面でもヨソの国では絶対できないというものがいっぱいある。話に出たロードスターやS660、リーフ、トヨタのMIRAIだってそうですよ。GSFにしても、高性能なだけでなく、ドイツのライバルみたいな性能至上主義じゃなくて、操る快感が最優先で、結果として個性が際立っている。性能云々だけの話じゃなくて、個性という点でも、実は日本車は今見るべきものがいっぱいあるなと思っています。

Toshifumi Watanabe
1967年福岡県生まれ。二輪、四輪誌の編集経験を経て、フリーランスの自動車ジャーナリストに。ユーモアたっぷりで得意即妙、キレのある文章は各方面で人気を集め、専門誌や一般誌、ウェブなどで幅広く活躍。著書に「カーナビ(上・下)」がある。

Yasuhisa Shimashita
1972年神奈川県生まれ。クルマを取り巻くあらゆる事象を俯瞰的に本誌をはじめ、専門誌や一般誌、ウェブなどで活躍するほか、未来のモビリティを探究するサイト「サステナ」を主宰する。著書に「2016年版間違いだらけのクルマ選び」がある。



美味しい名所が盛りだくさん!
**麻布十番
グルメマップ**

麻布十番と言っても、色々な地名があって分かりにくい。そんなアナタが十番ツウになるには、このマップから頭に入れてみよう。マップ上で色分けされたエリアは、それぞれ雰囲気が違い、そこに集まるお店もそれにシンクロするように個性を放っている。次ページからは個性溢れる6つのエリアを中心に、目的別で紹介。とにかくまずはこの6つのエリア名を覚えておくべし。

Illustration / Takashi Kawakami@visiontrack

銀座といえば、この四丁目の交差点。そして、「敷居、値段、品格」がそろった3高の店。だが、本物の美味しさを求めて大人が集う店は、この裏通りに潜んでいる。しかも「敷居が低く、値段が手頃、だけど銀座クオリティ」という、我々が常々望む店が増えているのだ。さらに、ガード下やせんべろを連想されがちな新橋からは、感度の高い女子会にもぴったりの店をピックアップ。この特集を機に、銀座と新橋の懐の深さを知り尽くそうではないか。では、はじまり、はじまり……。

Illustration / Takashi Kawakami @vision track Text / Yui Togawa ©Ryu Yamazaki/a.collection/amanaimages

銀座といえば、この四丁目の交差点。
じつはグルメな大人が集う店は
この裏通りに潜んでいる。

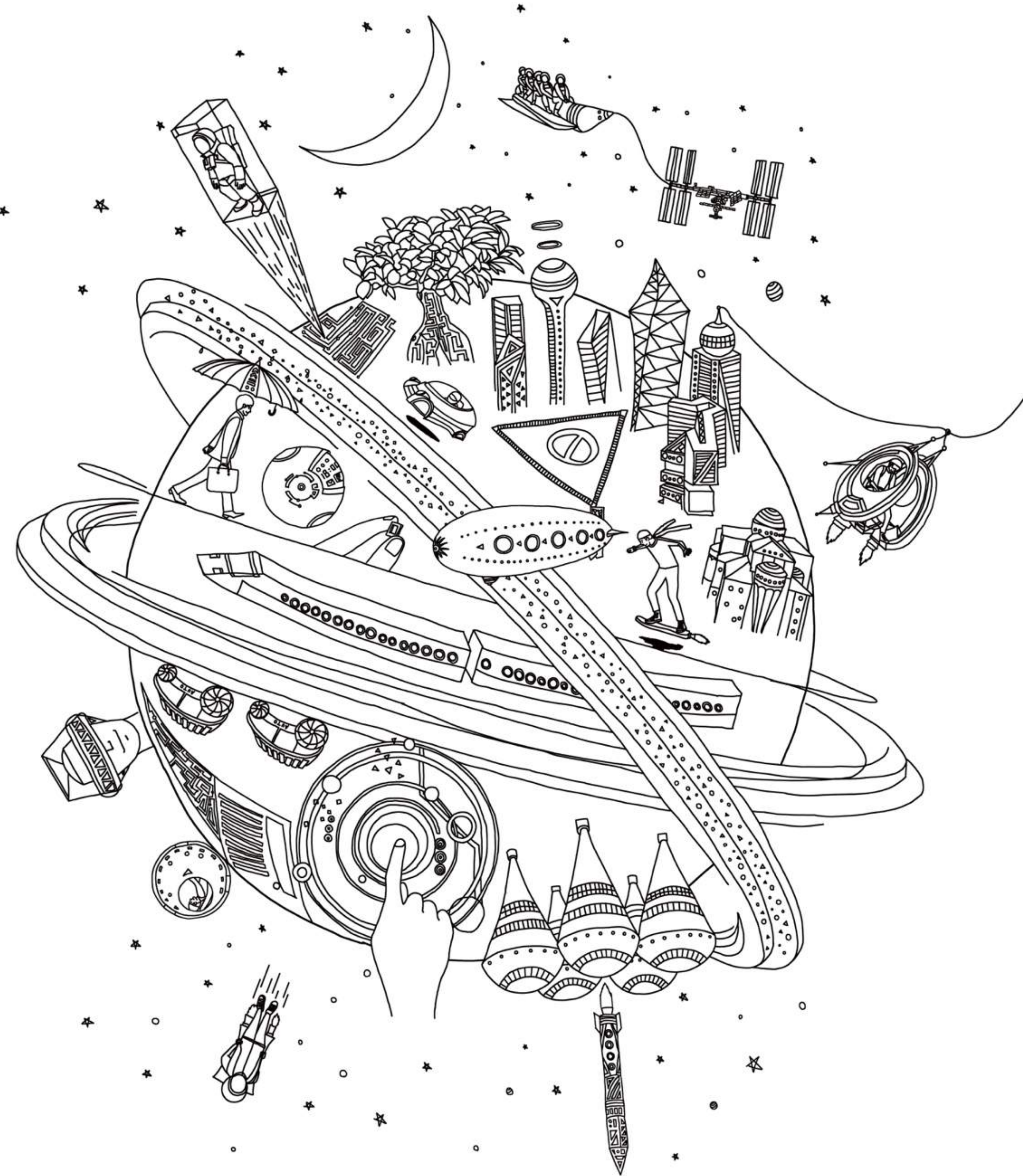
お得な銀座、楽しい新橋。



ちょっといいね、ルネサス。



News Digest 2016



都心に住む

別添付録

2016年
8月号

オリジナル
竹扇子

イラスト：川上義士



【ご使用上の注意】※ご使用前に必ずお読みください


●本来の目的以外に使用しないでください。●火気や高温物のそばに置かないでください。●竹は素材の特性上さくることがありますのでご注意ください。●竹骨や糊に食塩をかけると破損することがありますのでご注意ください。●破損、変形した場合は使用しないでください。●水には濡らさないでください。濡れた場合はすぐに乾いた柔らかい布等で軽くたたき水気を取り、陰干ししてください。●水や雨などで濡れたときや強い摩擦などにより、色落ちする恐れがありますのでご注意ください。●ベンジン・シンナー等は使用しないでください。●乳幼児の手が届かないところに保管してください。

（主素材）竹、紙 MADE IN CHINA

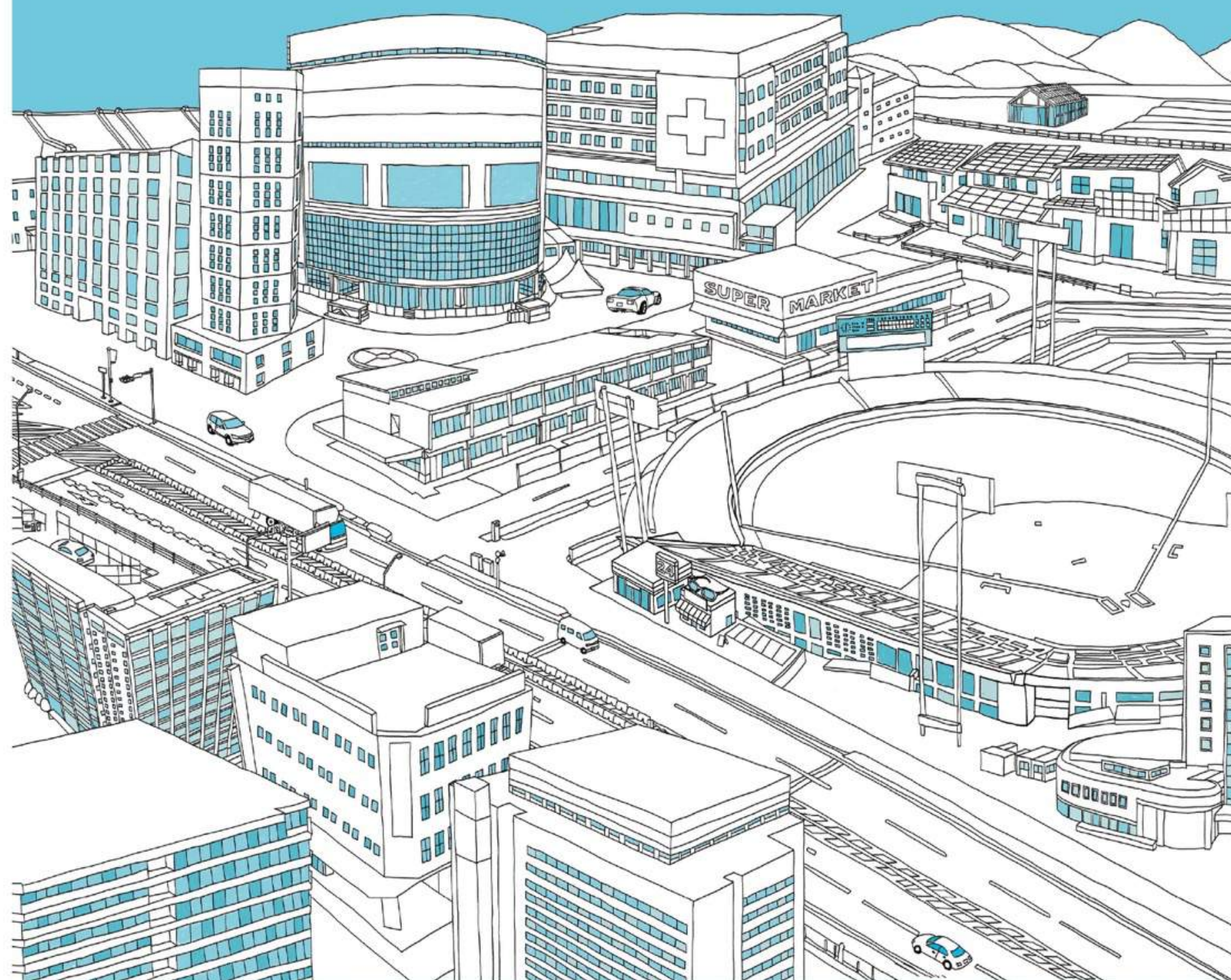
万一不具合がございましたら、読者ホットライン ☎ 0120-305-444までお知らせください。お問い合わせは、

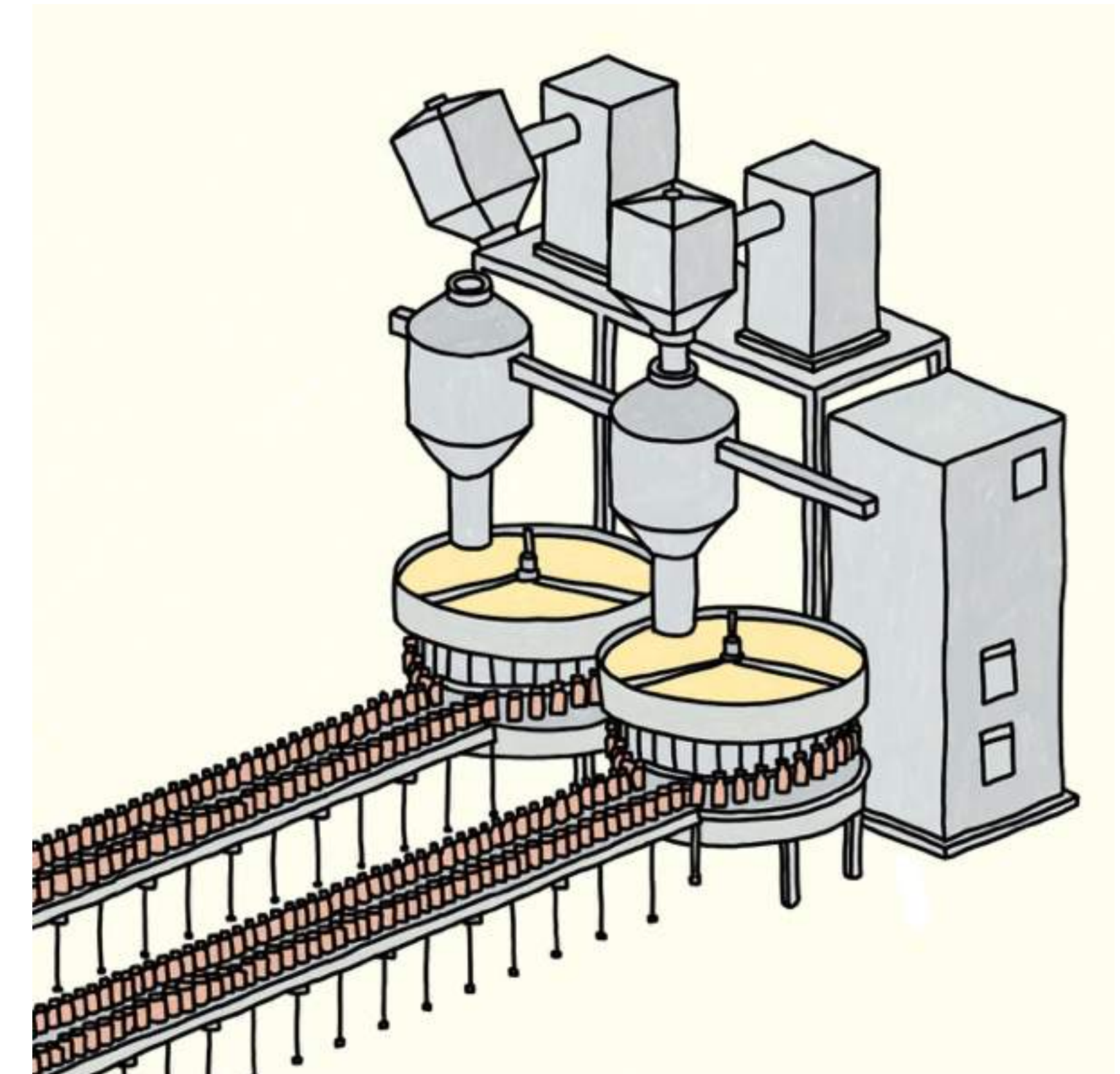
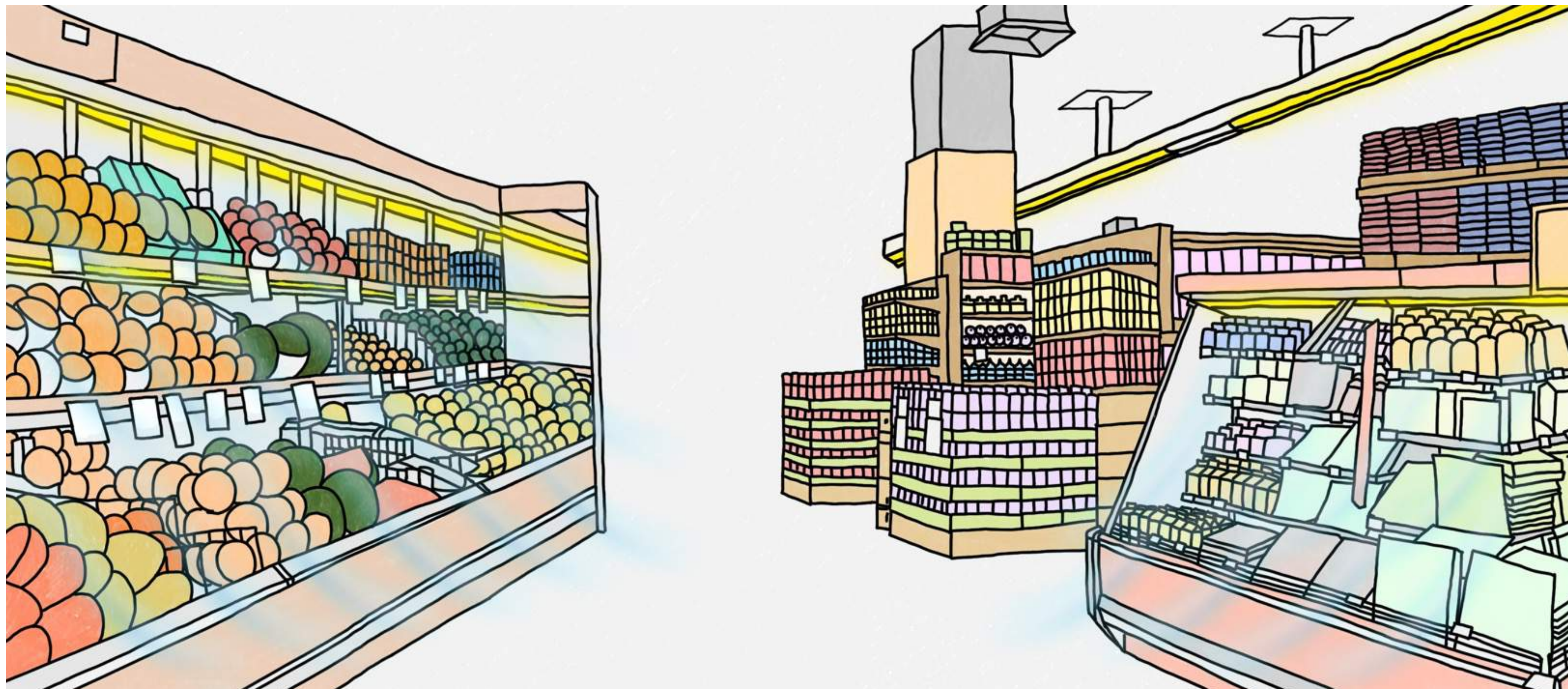
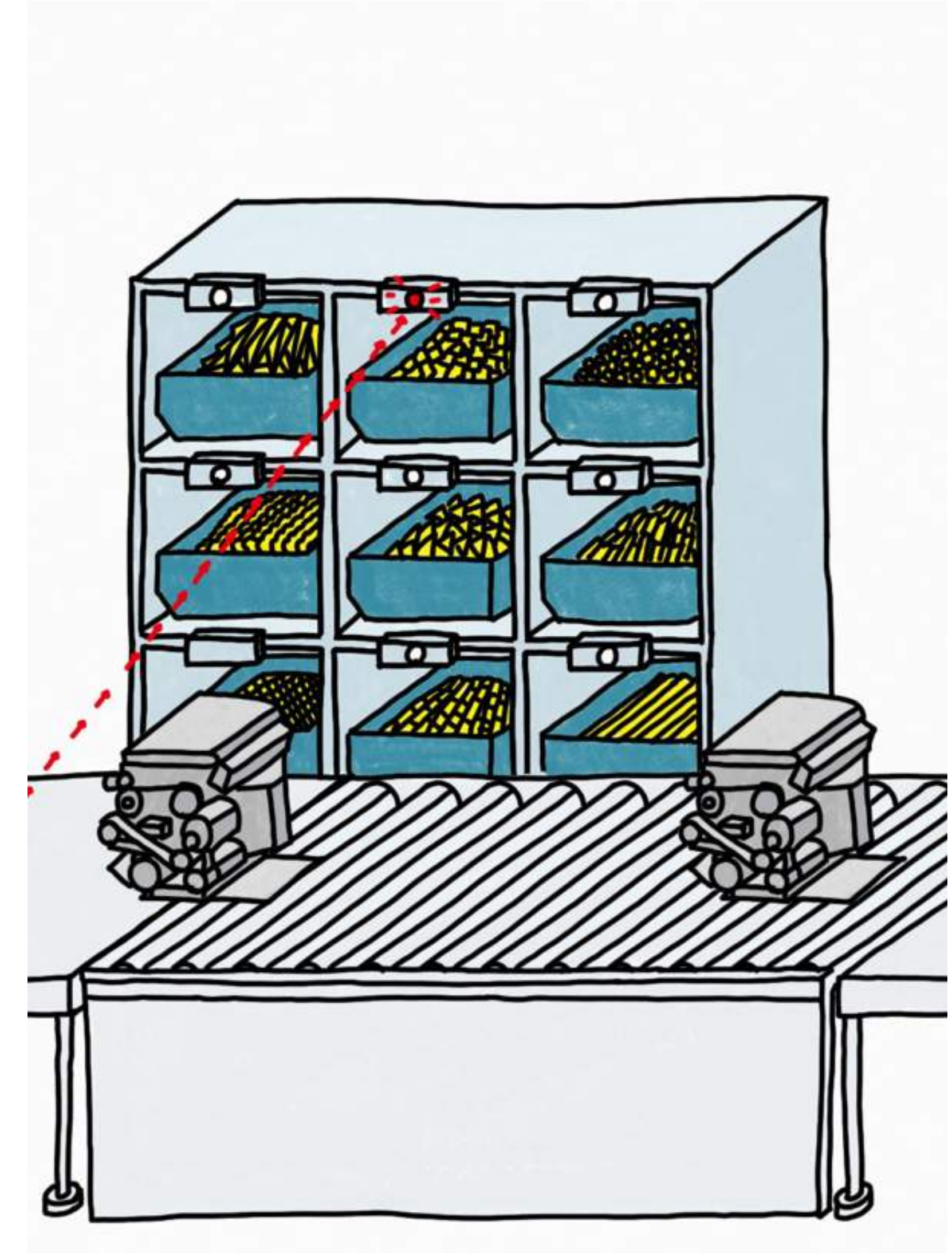
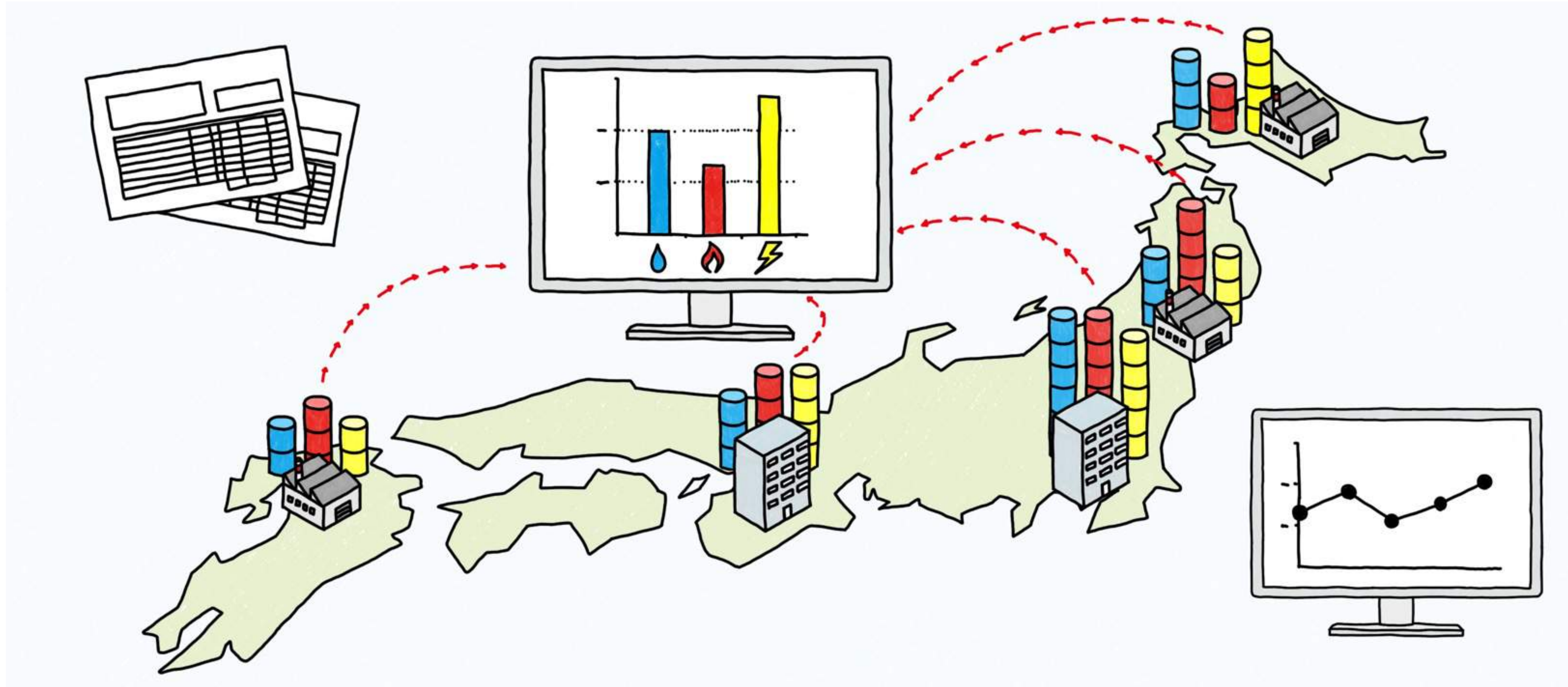
受付時間：10:00～13:00、14:00～17:00（土・日・祝・年末年始を除く）



 株式会社阪口文化堂
サンエス化学工業株式会社

ガラスで 社会を 豊かにする







CORE

Tabuchi Group Internal Communication Magazine

ISSUE

1

AUTUMN
2015



Communication Magazine
Launched for All Members
Inside TABUCHI Group

TABUCHIで働くすべての人へ
田淵電機グループ報を発刊します

CORE

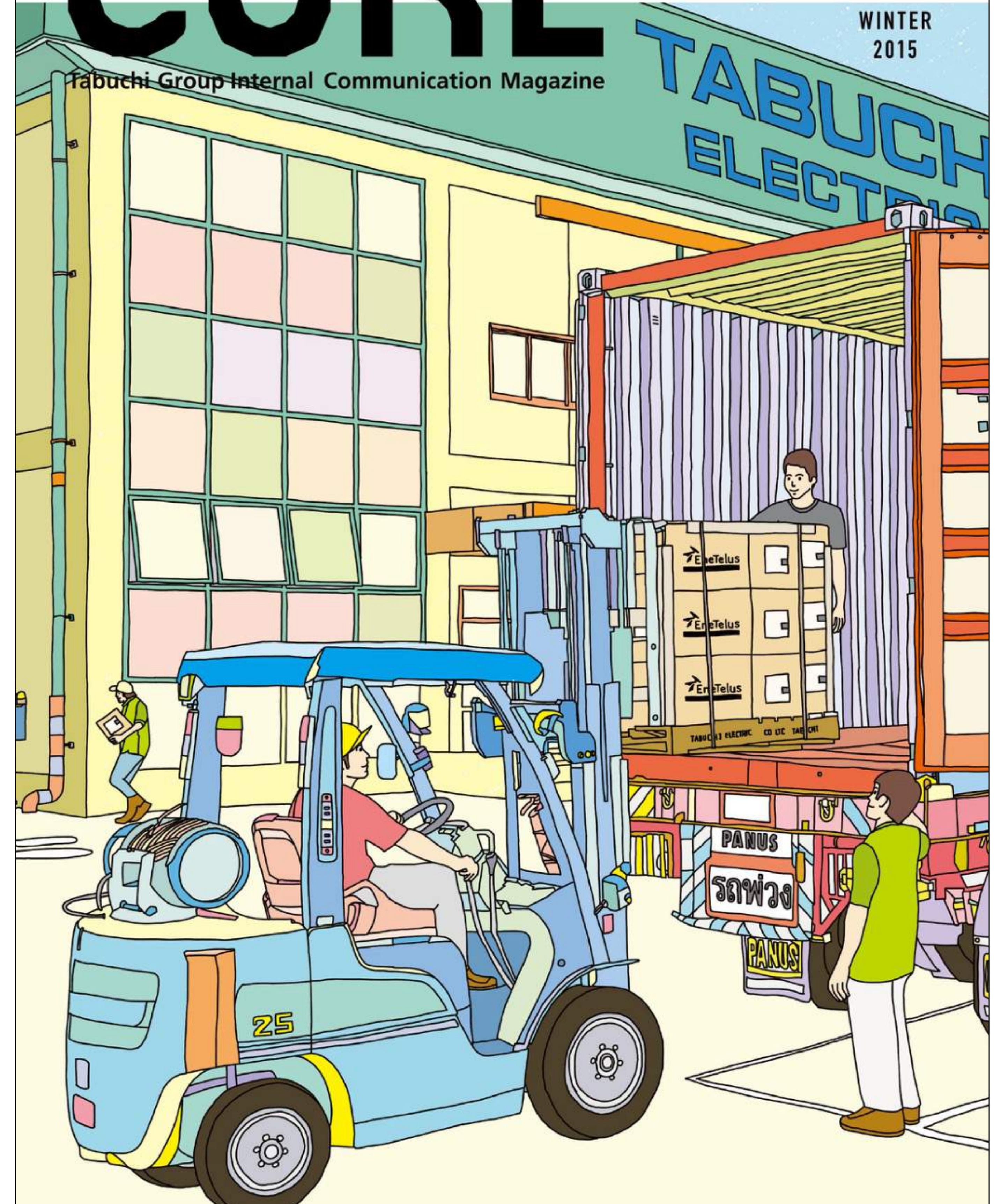
Tabuchi Group Internal Communication Magazine

田淵電機グループ報

ISSUE

2

WINTER
2015





およそ **35** km



減速は先の状況を見定めて、
「早め」にアクセルを戻します

PERSONAL WORKS











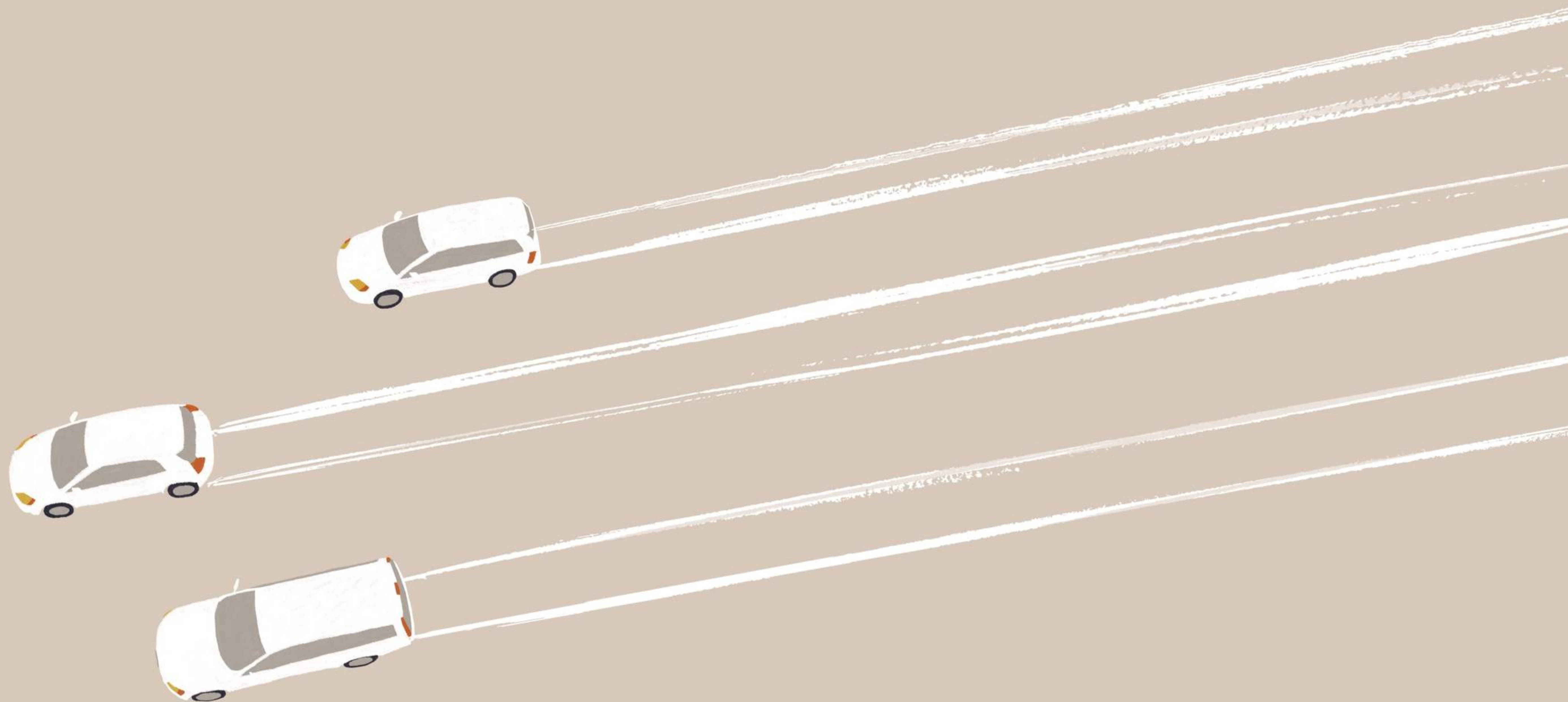




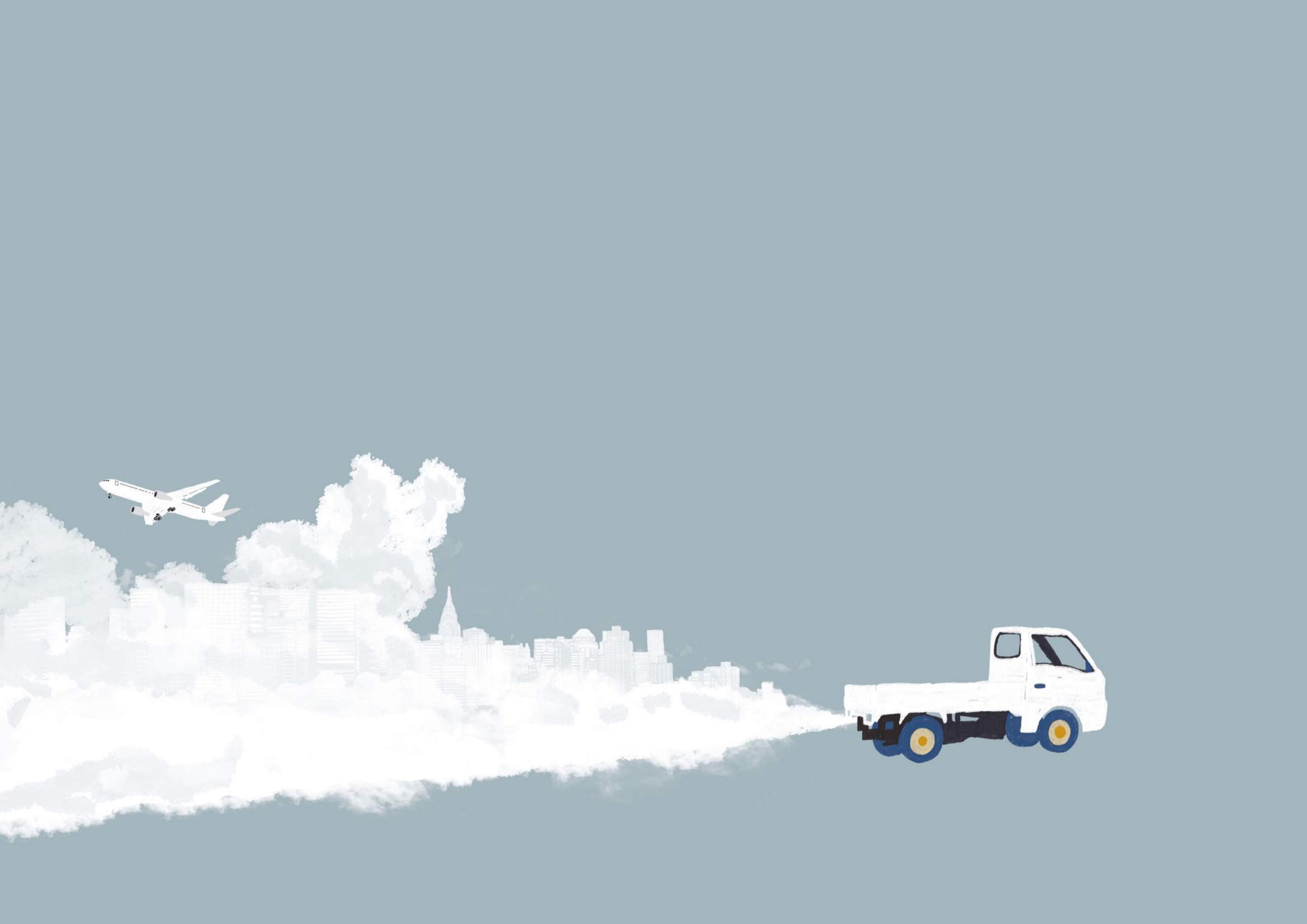


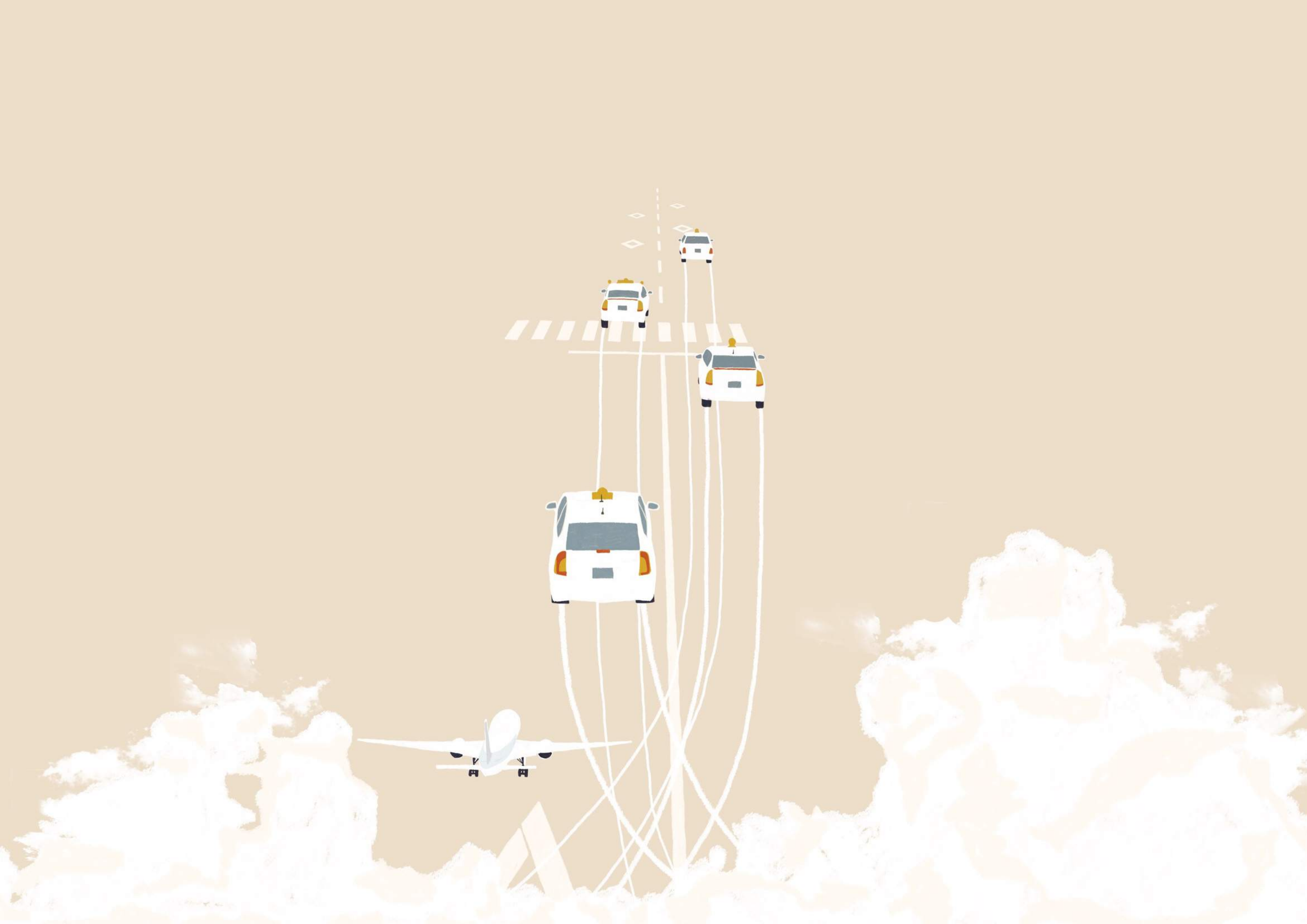




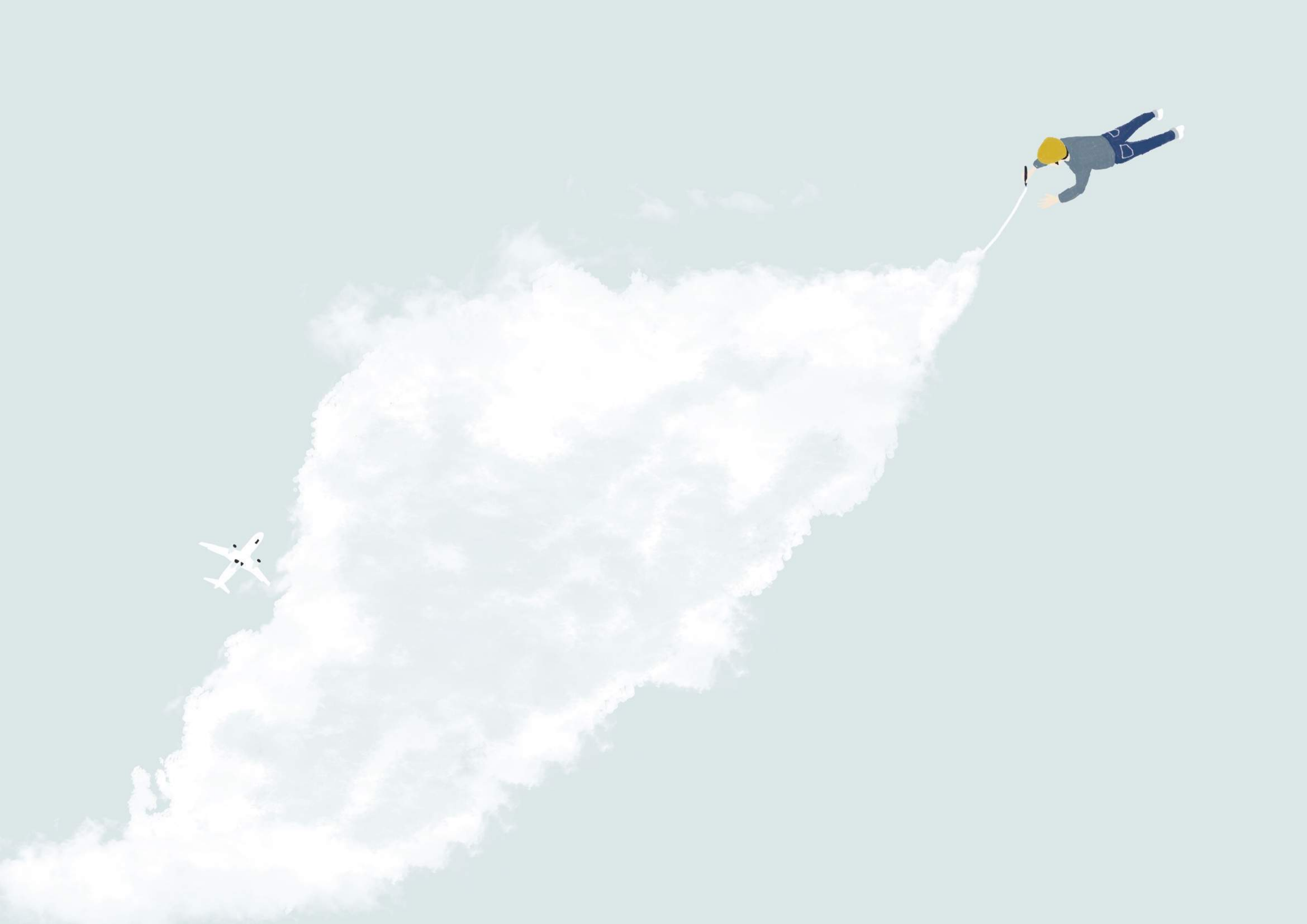


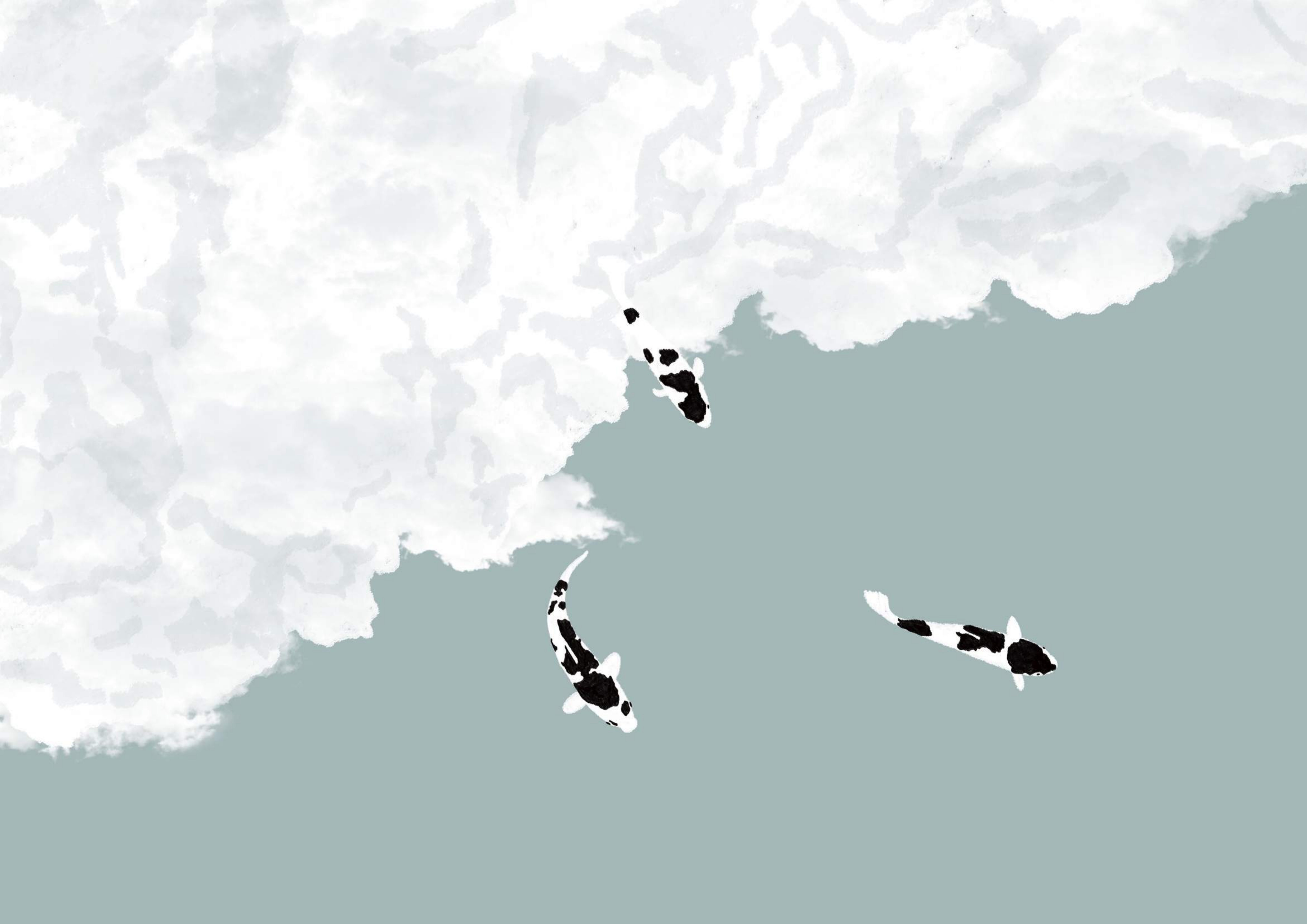


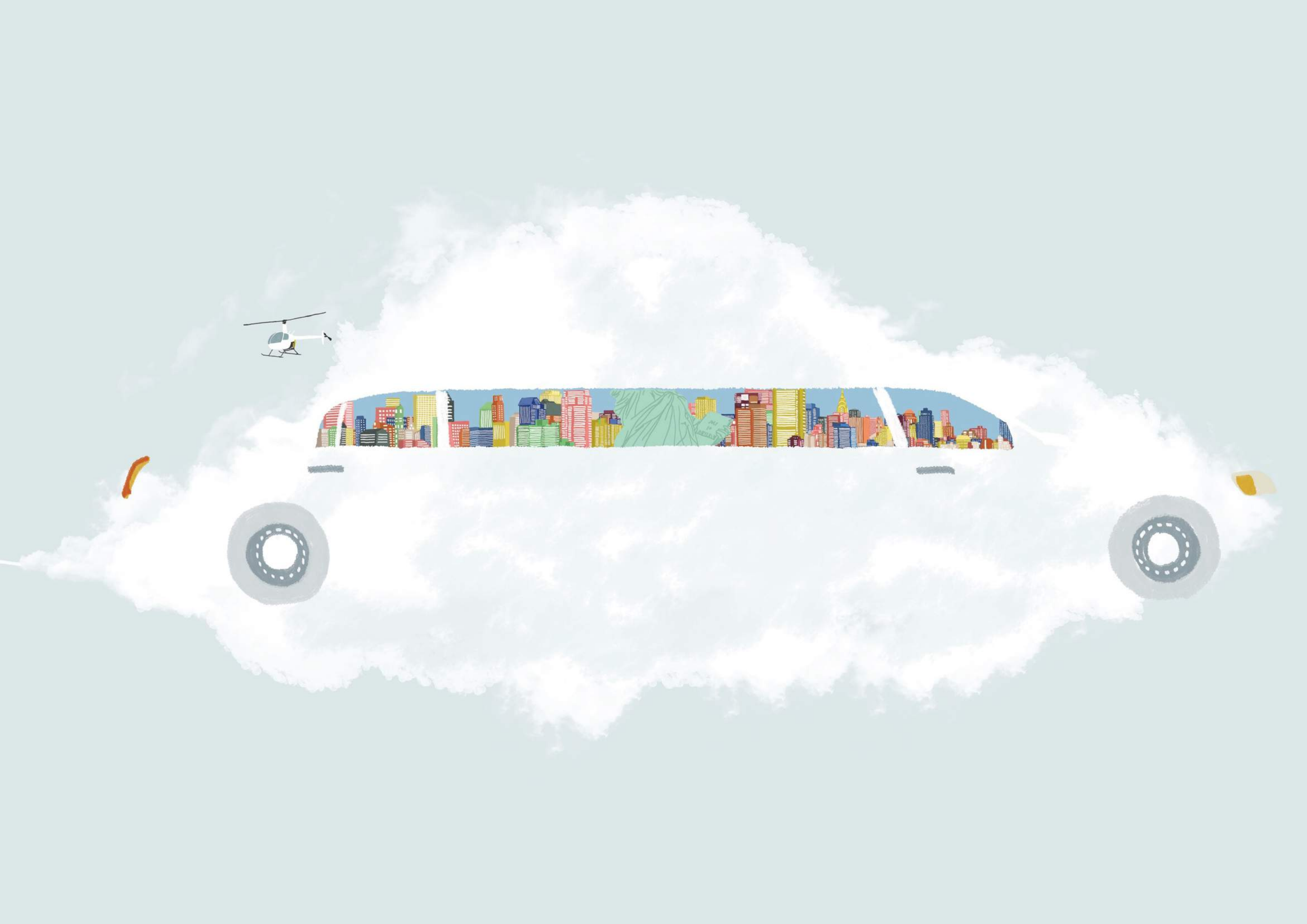


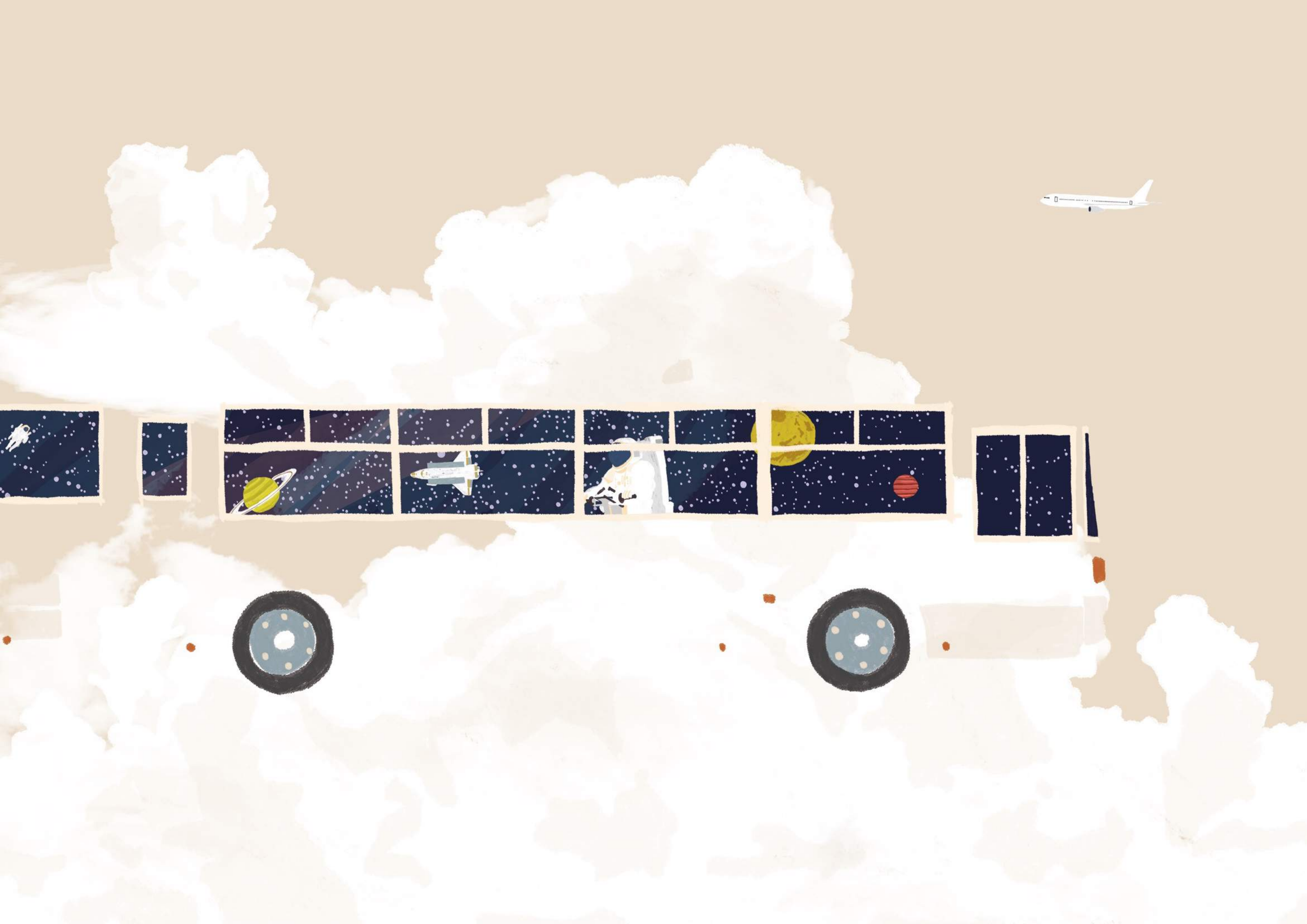




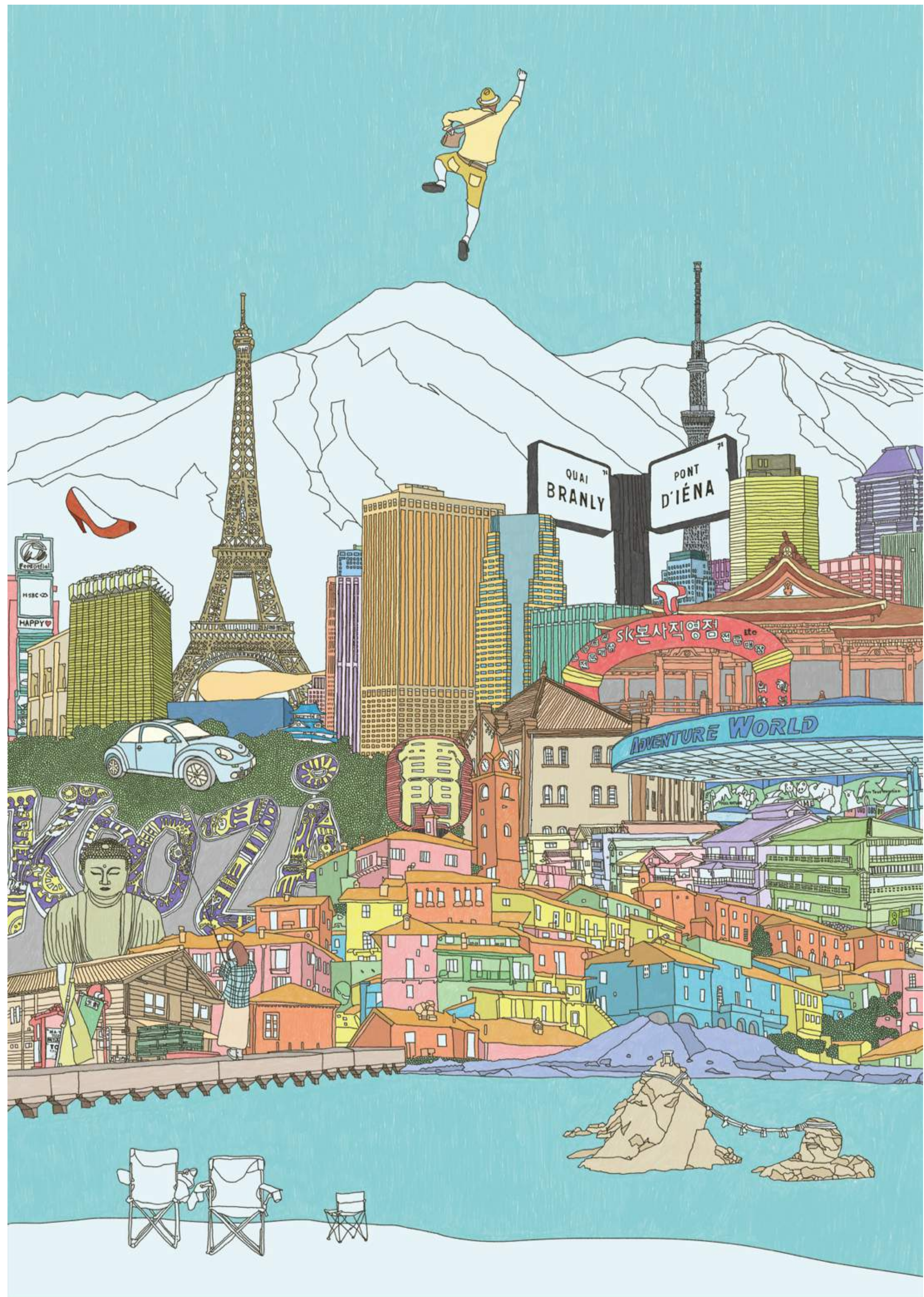




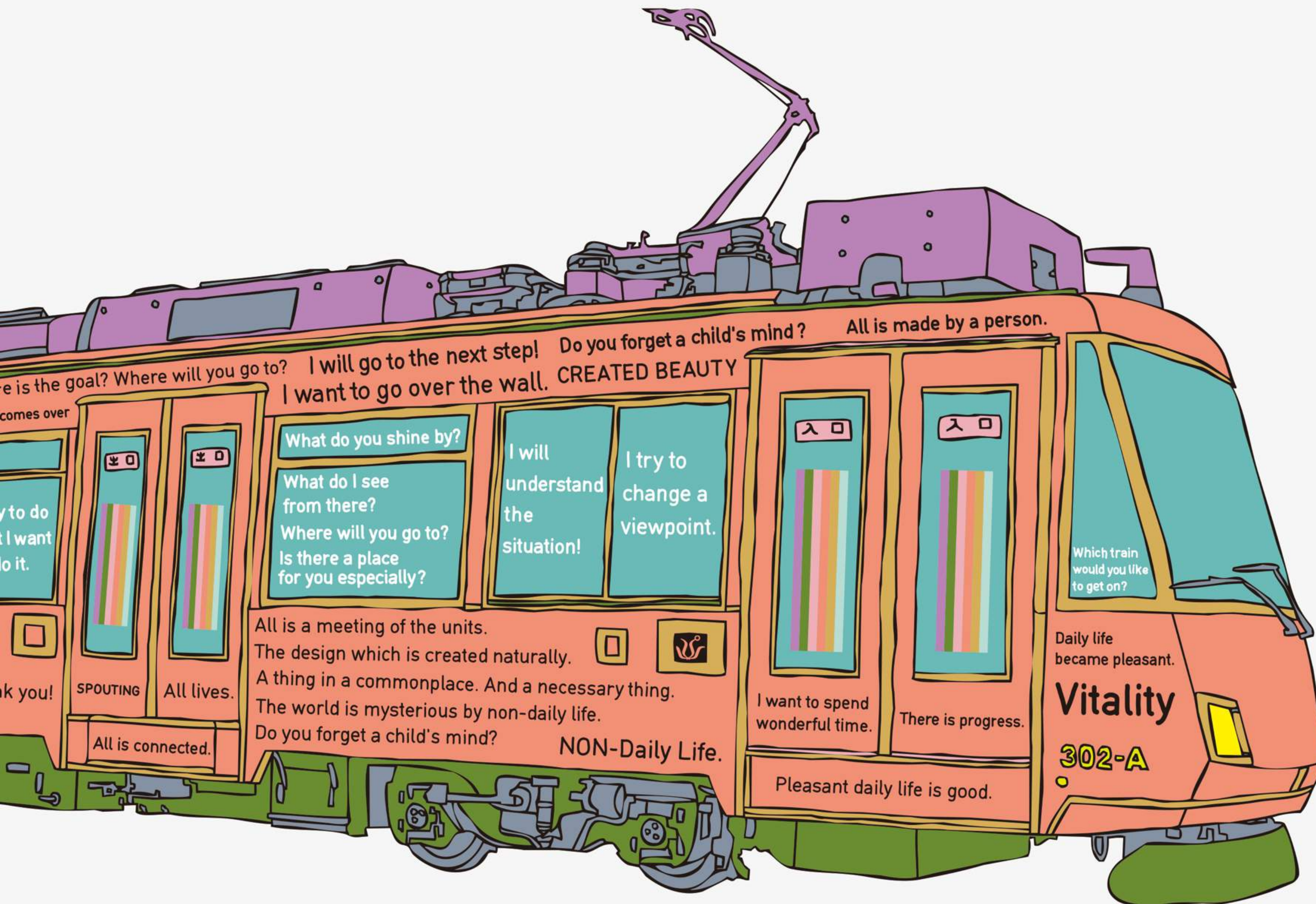












What is the goal? Where will you go to?
comes over

What do you do
I want
to it.

Thank you!

SPOUTING All lives.
All is connected.

I will go to the next step!
I want to go over the wall.

What do you shine by?
What do I see
from there?
Where will you go to?
Is there a place
for you especially?

All is a meeting of the units.
The design which is created naturally.
A thing in a commonplace. And a necessary thing.
The world is mysterious by non-daily life.
Do you forget a child's mind?
NON-Daily Life.

Do you forget a child's mind?
CREATED BEAUTY

I will
understand
the
situation!
I try to
change a
viewpoint.

I want to spend
wonderful time.

There is progress.

Pleasant daily life is good.

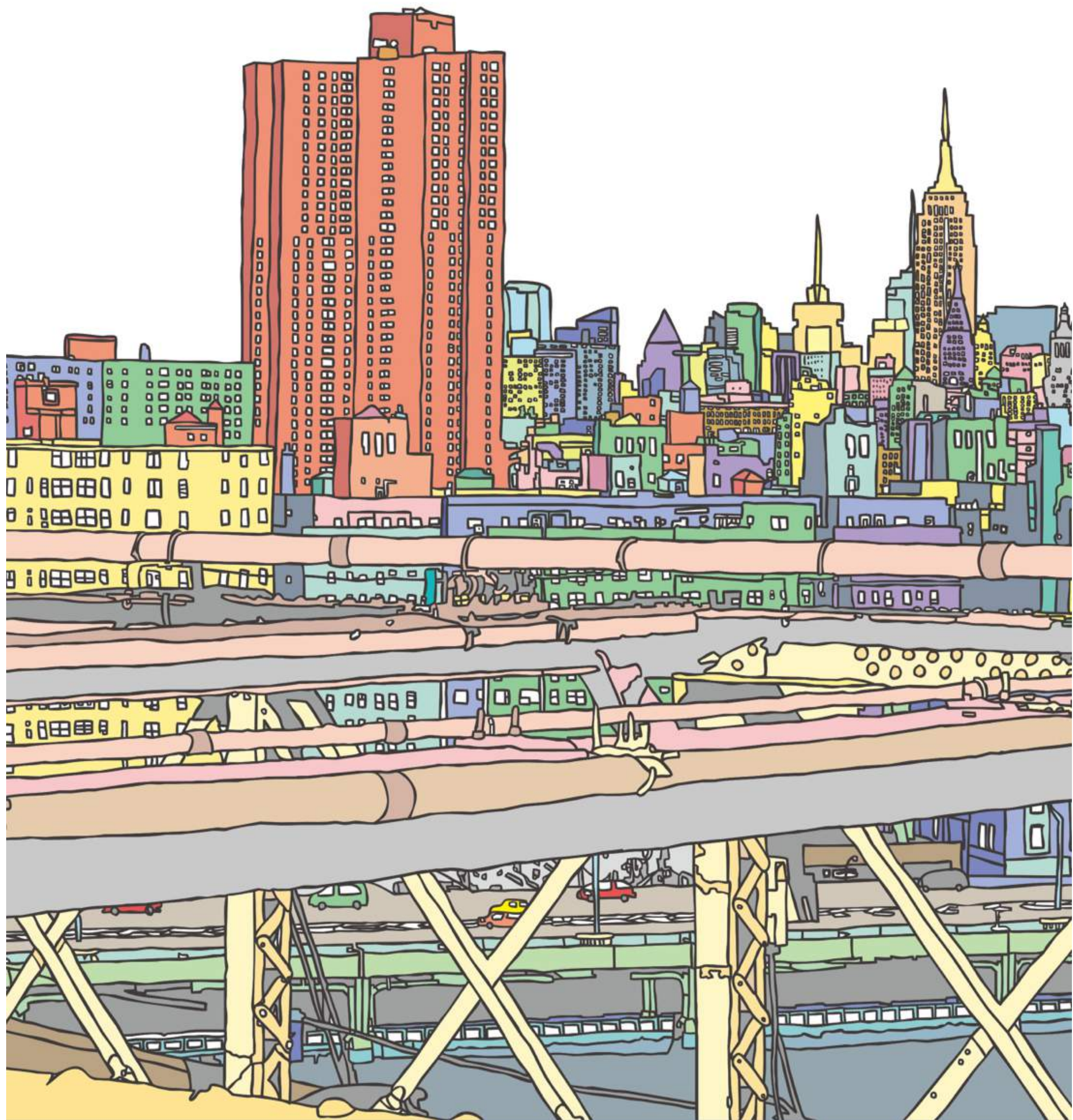
All is made by a person.

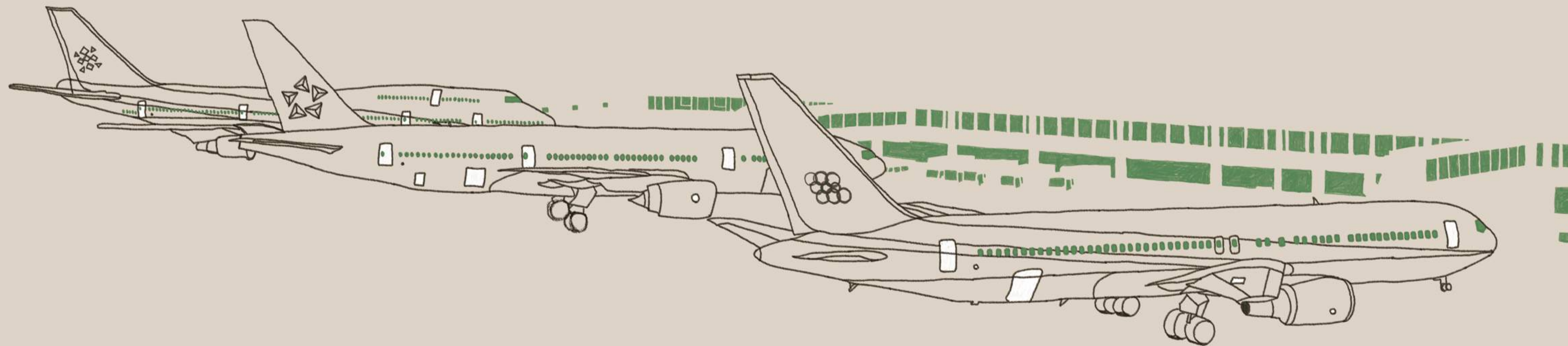
Which train
would you like
to get on?

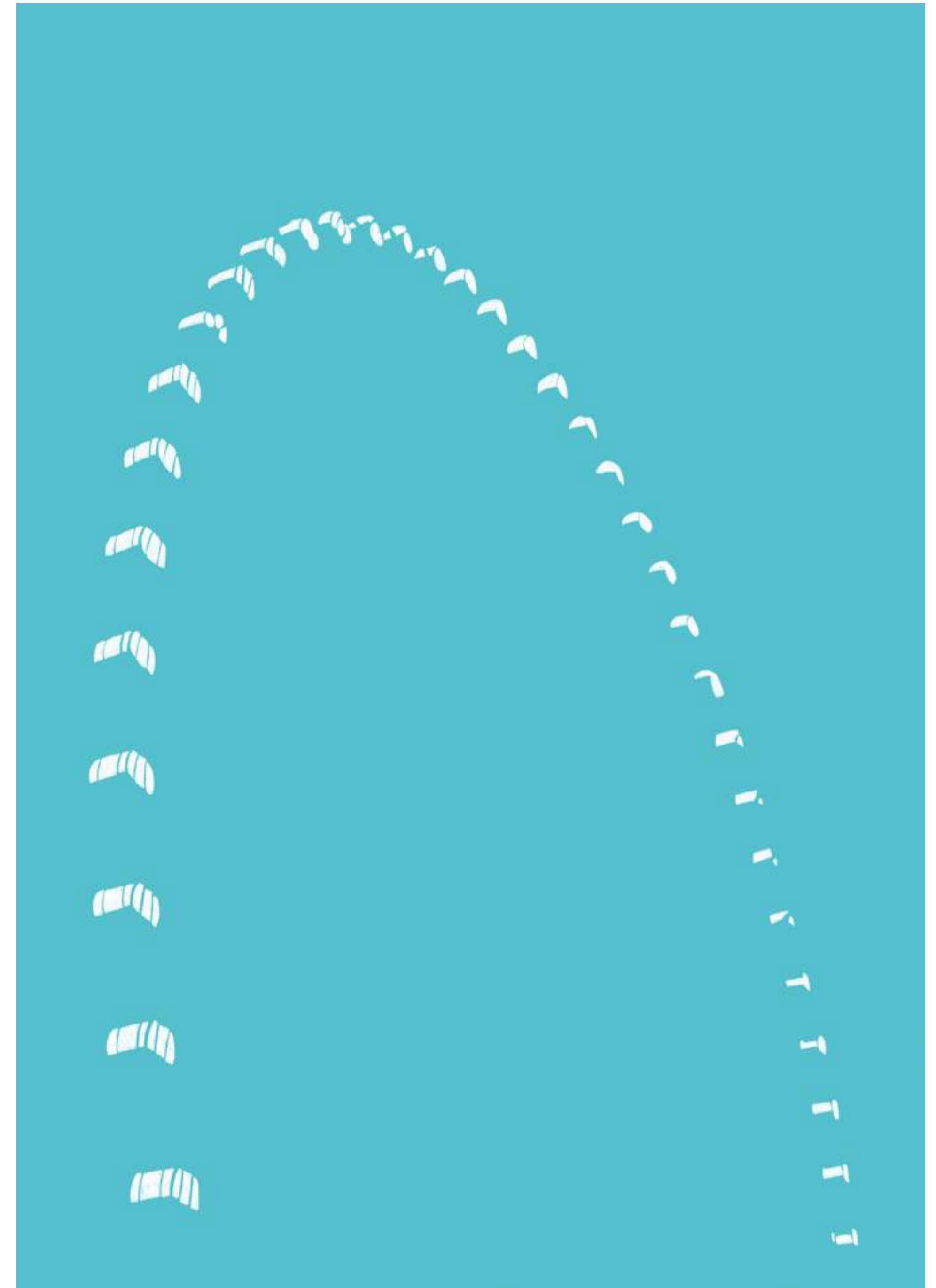
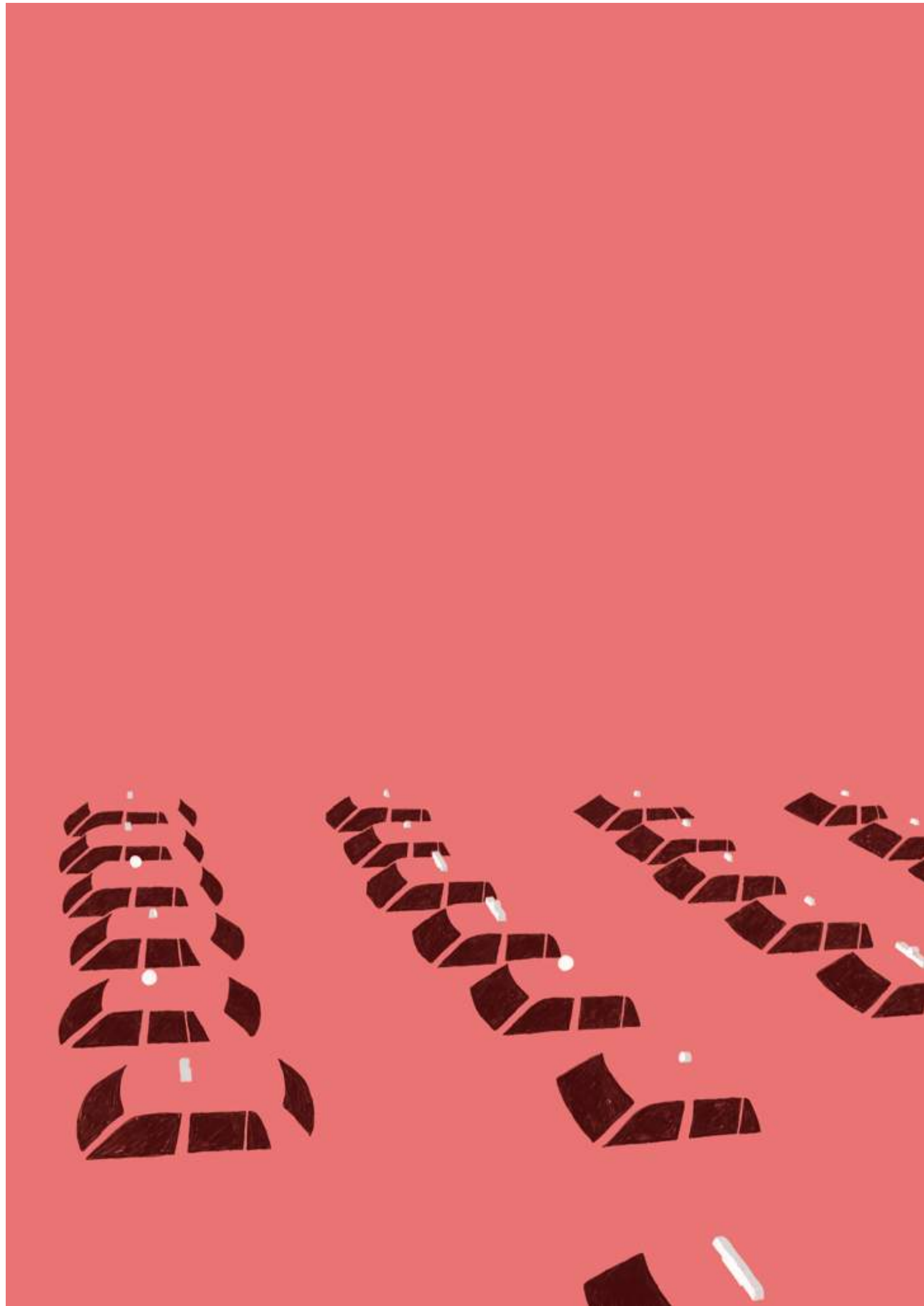
Daily life
became pleasant.

Vitality

302-A

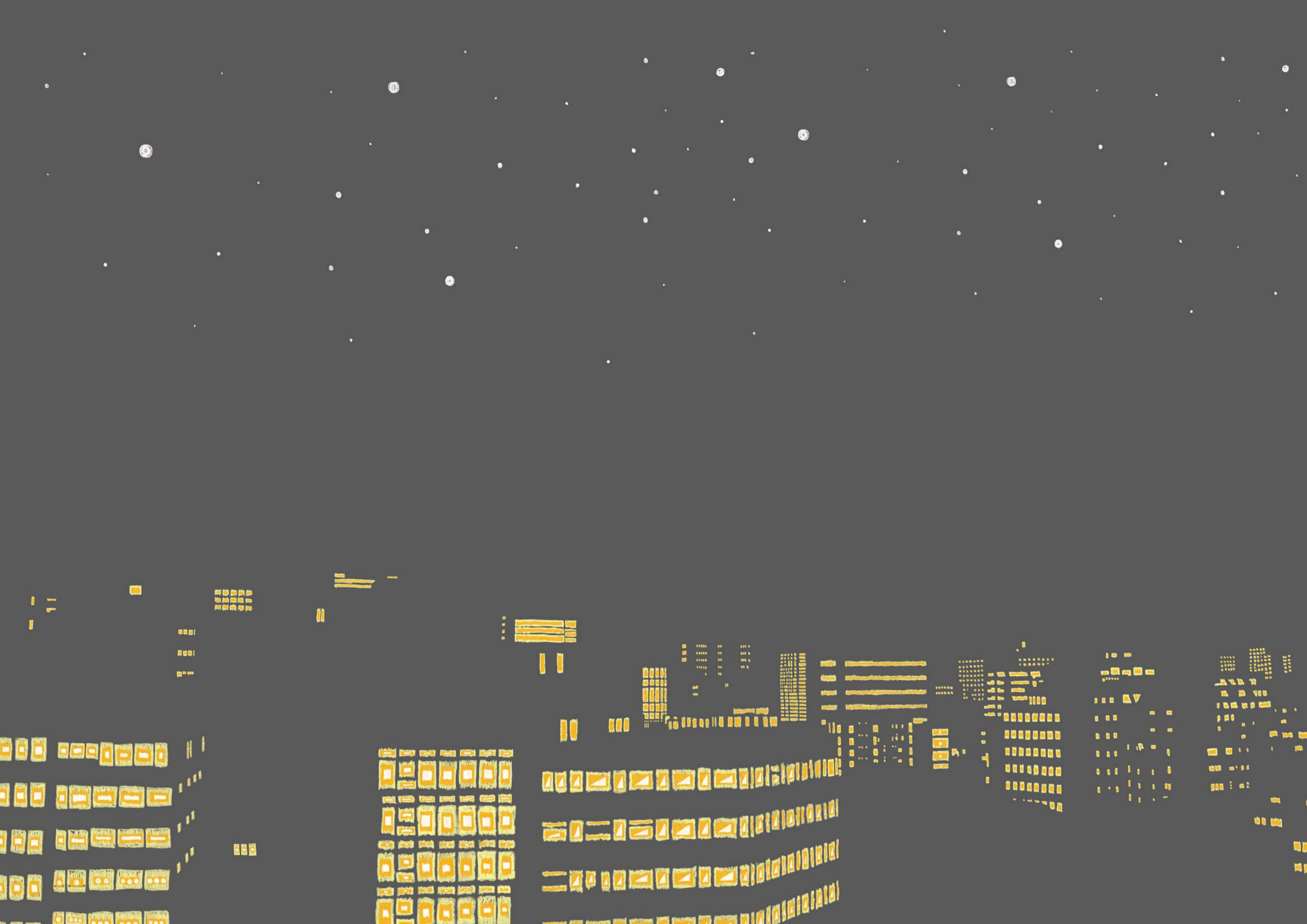














連絡先 info@visiontrack.jp

vision track

TOKYO | 150-0045 東京都渋谷区神泉町11-9 Wine Apartment201 | TEL&FAX 03-6455-4588

OSAKA | 550-0015 大阪市西区南堀江1-10-11 西谷ビル本館4F4-7 | TEL 06-6543-7007 FAX 06-6543-7017